

衆議院第七十五回 帝國會議所得稅法改正法律案外三十件委員會議錄(速記)第九回

(九八)

付託議案

法改正法律案（政府提出）（第七號）

外配特別稅案（政府提出）（第九號）
當利子特別稅案（政府提出）（第一〇號）
貨債特別稅案（政府提出）（第一一號）
特別稅法中改正法律案（政府提出）（第一二號）

續稅法中改正法律案
建築稅法案
政府提出
第一三號

臨時利得稅法中改正法律案（第四號）
營業稅去稅案（政府提出）（第一五號）

地租法中改正法律案（政府提出）
酒稅法案（政府提出）
第一八號

砂糖涼飲料稅法中改正法律案（政府提出）（第一九號）

織物消費稅法中改正法律案(政府提出)(第三
揮發油稅法中改正法律案(政府提出)(第二
物品稅法中改正法律案(政府提出)(第一

物品稅法案（政府提出）第一三號
遊興飲食稅法案（政府提出）第二四號
反引所稅法中政王法律案（政府提出）第二

（第二七號）（第二六號）（第二五號）（第二四號）（第二三號）（第二二號）（第二一號）（第二〇號）（第十九號）（第十八號）（第十七號）（第十六號）（第十五號）（第十四號）（第十三號）（第十二號）（第十一號）（第十號）（第九號）（第八號）（第七號）（第六號）（第五號）（第四號）（第三號）（第二號）（第一號）

印紙稅法中改正法律案(政府提出)(第一二三)

狩獵法中改正法律案(政府提出)(第三〇號)
明治四十四年法律第四十五號中改正法律

税織物消費稅等ノ徵收ニ關スル件(政府
號)三九三去津第五一一號口收三去津

大正十九年法律第五十一號中改正法律案
件太ヨリ朝鮮ニ移出スル物品ノ内國稅
件政府提出(第三二號)

支那政局變特別稅法及臨時租稅增徵法廢止

營業收益稅法廢止法律案（政府提出）（第二
資本利子稅法廢止法律案（政府提出）（第二

法人資本稅法廢止法律案（政府提出）
臨時租稅措置法中改正法律案（政府提出）

地方法稅法案（政府提出）（第四七號）
地方分與稅法案（政府提出）（第四八號）
府制中政上法津案（政府提出）（第四九號）

市町村制改正法法律案(政府提出) 第五〇號

北海道會中改正法律案(政府提出)(第五十
二)
北海道地方法中改正法律案(政府提出)(第五十一)

地方分與稅分與金特別會計法案(政府提出)

三君
松永義雄君

外
石坂
繁君

肇君
青木作雄君

順助君 武田徳三郎君

出席國務大臣左ノ如シ

清臣君
大藏大臣

第六類第一號 所得稅法改正法律案外三十件委員會議錄

第九回 昭和十五年一月二十六日

一一七

出席政府委員左ノ如シ	内務大臣 伯爵兒玉 秀雄君
内務省地方局長	内務書記官 三好 重夫君
大藏政務次官	木村 正義君
大藏參與官	松田 正一君
大藏省主稅局長	大矢半次郎君
大藏書記官	田中 豊君
商工省振興部長	山田 義見君
商工書記官	椎名悅三郎君
物價局次長 新倉 利廣君	本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
特別法人稅法案(政府提出)	所得稅法改正法律案(政府提出)
配當利子特別稅法案(政府提出)	法人稅法案(政府提出)
外貨債特別稅法中改正法律案(政府提出)	相續稅法中改正法律案(政府提出)
鑄區稅法案(政府提出)	建築稅法案(政府提出)
地租法中改正法律案(政府提出)	酒稅法案(政府提出)
砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)	清涼飲料稅法中改正法律案(政府提出)
揮發油稅法中改正法律案(政府提出)	營業稅法案(政府提出)
物品稅法案(政府提出)	遊興飲食稅法案(政府提出)
取引所稅法中改正法律案(政府提出)	通行稅法案(政府提出)
入場稅法案(政府提出)	カラ承リタイト思フノデアリマス

印紙稅法中改正法律案(政府提出)	○櫻内國務大臣 鹿太ナル豫算ガ出ルト
骨牌稅法中改正法律案(政府提出)	「インフレ」必至デアルガ、之ニ對スル對策
狩獵法中改正法律案(政府提出)	ハドウデアルカト云フ御意見ノヤウニ拜承
明治四十四年法律第四十五號中改正法律案 砂糖消費稅織物消費稅等ノ徵收ニ關スル件(政府提出)	致シマシタ、此ノコトハ今マデモ度々論議
品ノ内國稅免除ニ關スル件(政府提出)	致サレタ所デアリマシテ、洵ニ重要ナル事
支那事變特別稅法及臨時租稅增徵法廢止	柄デアリマスガ、要スルニ此ノ豫算ヲ實行
法律案(政府提出)	致シマス上ニ於テ、苟クモ「インフレー
營業收益稅法廢止法律案(政府提出)	ション」ヲ起ス虞ノアルコトニ付キマシテ
資本利子稅法廢止法律案(政府提出)	ハ、最モ慎重ナ態度ヲ取ツテ、其ノ實行ニ當
法人資本稅法廢止法律案(政府提出)	ラナケレバナラナイト考ヘマス、ト同時ニ
臨時租稅措置法中改正法律案(政府提出)	過日申シマスル通リニ、撒布セラレタル所
地方稅法案(政府提出)	ヘラレルノデアリマス、其ノ點ニ付キマシ
府縣制中改正法律案(政府提出)	テハ、度々申シマス通り或ハ貯金ノ獎勵デ
市制中改正法律案(政府提出)	アルトカ、或ハ公債ノ消化ニ努力スルトカ
町村制中改正法律案(政府提出)	致シマシテ、其ノ撒布セラレタル資金ヲ吸
北海道會法中改正法律案(政府提出)	收スルト云フコトニ努力致スコトガ、先づ
地方分與稅分與金特別會計法案(政府提出)	必要デアラウト思ツテ居リマス、ソレト同
出)	時ニ根本的ノ改革ノ方面カラ申シマスト、
○堀切委員長 ソレデハ是ヨリ開會致シマ	物ノ消費ノ節約ヲ致シマシテ、サウシテ其
ス、今日ハ渡邊サンカラ御願致シマス	ノ節約ト云フ方面カラ物資ノ需給ノ關係ヲ
○渡邊委員 物價問題ト税トハ重要ナ關係	調整致シマシテ、「インフレーション」阻止
ガアリマスカラ、先づ第一ニ承リタイノハ、	ノ方策ヲ講ズルコトヲ考ヘナケレバナラ
百億突破ノ大豫算ガ、今後數年續クト云フ	ス、又市中ニ散布セラレタル資金ガ潤澤ナ
コトハ、屢々大藏大臣ガ言明サレテ居ルノ	ルニ任セテ色々ナ企業が起ツテ、却テソコ
デアリマスガ、此ノ大豫算ニ關聯シテ「イ	ニ「インフレーション」ヲ更ニ殖ヤスト云フ
ンフレ」ハ必至デアルト思フノデアリマス、	コトガアツテハナリマセヌノデ、所謂資金
而シテ低物價政策ヲドウシテ堅持サレテ、	調整其ノ他ノ方法ニ依リマシテ、適當ニ之
クノデアルカ、其ノ點ヲ先づ以テ大藏大臣	ヲ處理シテ、撒布セラレタル資金ガ預金ト

而シテ低物價政策ヲドウシテ堅持サレテ、	アリマスガ、之ニ對シテ内務大臣ハドンナ
クノデアルカ、其ノ點ヲ先づ以テ大藏大臣	御取締ヲシテ居ラレルノデアルカ、此ノ問
而シテ低物價政策ヲドウシテ堅持サレテ、	題ハ要スルニ闇取引ヲシタル利益ニ對シテ
クノデアルカ、其ノ點ヲ先づ以テ大藏大臣	ハ課稅スル方法ガナイ、一面カラ言ヘバ闇
カラ承リタイト思フノデアリマス	取引ノ不都合ト、更ニ此ノ稅制委員會ト致

ツテ相當稅源が逃ダテ行ク、隨テ其ノ取締ノ方法ニ付テ、内務大臣ノ御所見ヲ併セテ承ツテ置キタイト存ズルノデアリマス○櫻内國務大臣　内務大臣ニ御質問ノ點ハ内務大臣カラ御答ニナルト思ヒマスガ、今御話ノ如ク汽車ニ御乗リニナツテモ、「タオル」ガナイト云フ現狀ニアリマスコトハ、
ニ吾タト致シマシテモ心配致スペキ點デアリマス、此ノ點ハ渡邊サンモ能ク御承知ノ通り、日本ト致シマシテハ、軍事資材其ノ他ドウシテモ外國カラ買ハナケレバナラヌ品物ガ相當アリマスノデ、其ノ點カラ考ヘマシテ、詰リ綿ノ如キ品物デ國內ニ使用スルモノハ出來得ル限リノ節約ヲシテ、出來レバ代用品ヲ使フト云フ狀態デ、御承知ノ通リ「ステープル・ファイバー」ヲ使ツテ居ル、ソレモ亦「パルプ」ヲ輸入シタリ、木材ヲ輸入スル關係デアリマシテ、出來ル限り節約ヲスル、斯ウ云フ建前カラサウ云フ原料ヲ輸入ニ俟ツ品物ニ付キマシテハ、特ニ國民ニ不自由ヲ忍ンデ貴ツテ居ルヤウナ譯デアリマス、是ガ相當緩和スルコトヲ考ヘナケレバナラヌノデアリマスガ、現在ノ狀態ニ於キマシテハ、此ノ點ニ付テハ成ベク國民ノ御協力ヲ願ツテ、今暫ク御辛抱ヲ願フノ外方法ガナイト思ツテ居リマス、要スルニ原料ヲ輸入ニ俟チマス物ハ、可ナリ不自由ヲ御願スルヨリ外仕方ガナイ、現在斯ウ云フ状況ニナツテ居リマスノデ、御諒解ヲ得タイト思ヒマス○兒玉國務大臣　經濟警察ノ御質問デアリマス、闇取引ノ根絶ニ付キマシテハ、物價ニ關スル根本政策ノ確立ト相俟チマシテ、經濟警察ノ取締ノ圓滑ニ依リマシタ、其ノ目的ヲ初メテ達シ得ルノデアリマスルノデ、

經濟警察ヲ致シマシテハ、大體統制經濟ノ
諸法令ニ關シマスル内容ヲ十分ニ民間ニ知
ラセ、又之ニ對スル民間ノ意見ヲ聽取致
シマシテ、其ノ法令ノ運用ノ圓滑ヲ期スル
ト云フコト、茲ニ犯罪ヲ未然ニ防止スルト
云フコト、此ノ二ツノ目的ヲ以テ今日經濟
警察ヲ運用シテ參ツテ居ルノデアリマス、
併シ御承知ノヤウニ新シク試ミラレマシタ
ル經濟警察デアリマスノデ、而モ統制經濟
ニ關スル法令ノ周知ト云フコトが中々困難
ナノト、ソレカラ一面ニ於テハ適正物價ノ
決定ガ容易デナイト云フ事實ガ絡ミマシテ、
今日所謂闇取引ガ行ハレテ居ルヤウナコト
ニ相成ツテ居ルノデアリマス、隨て經濟警
察ト致シマシテハ、出來ルダケ只今申上ゲ
マシタル方針ニ依リマシテ、闇取引ノ起リ
マセヌヤウニ努メテ居ルノデアリマスルガ、
今日ニ於テ經濟警察ノ活動シテ居ル部門ハ、
成ベク民衆ヲ犯罪自體ニ陷ラシメナイト云
フヤウナ事柄ヲ主トシテ努メテ居ルノデア
リマス、併シナガラ所謂惡性ノ犯罪ニ付テ
ハ、是ハ嚴罰主義ヲ以テ臨マナケレバナラ
ヌ、斯ウ考ヘテ居リマス、要スルニ經濟警
察ト致シマシテハ、只今申上ゲマシタ通り
ニ法令ノ周知竝ニ防犯ト云フ事柄ヲ目的ト
致シテ居ルノデアリマス、此ノ完全ナル效
果ヲ擧ゲマスノニハ、一面ニ於テ物價政策
ノ完全ナル運用ト相俟タナケレバ、其ノ目
的ヲ達シ得ナイモノト、斯ウ考ヘテ居ルノ
デアリマス

信ジテ居リマス、若シ其ノ點ガ違フナラバ
更ニ御答辯ヲ願ヒタイ、其ノ生産擴充、輸
出増進、國民生活ノ安定ト云フモノヲ害セ
ザル範圍デアルトスレバ、此ノ低物價政策
ニ於テモ緩急宜シキヲ得テ、重點主義ヲ執
ツテ行ク必要ガアルノデハナイカ、ソレガ
稅制ノ上ニ於テハ現ハレテ居ナイノデ、大
衆課稅ヲ相當ヤレテ居リマスコトヲ、私
共ハ遺憾ニ思ヒマスガ、其ノ微細ナル點ニ
付テハ後刻政府委員カラ承ルコトニ致シマ
シテ、先づ大臣カラ承リタイコトハ、ドウ
云フ風ニ低物價政策ヲ堅持サレルノデアル
カ、全面的ニサウ云フコトヲ堅持サレル御
方針ヲ御持チニナルカ、或ハ重點主義ヲ以
テ御ヤリニナルカ、其ノ點ヲ御答辯ヲ願ヒ
タイト思ヒマス、内務大臣ノ御答辯ハ言詰
メテ見レバ、御取締ノ方面ニ付テ、萬全ヲ
期スルト云フコトデアツタト思ヒマスケレ
ドモ、其ノ實際カラ申シマスト、私共ハ法
令其ノモノニ依ツテ、全部御取締ニナツテ
宜イノカ惡イノカ、ソコニ緩急ガアルノデ
ハナイカ、是ハ言過ギカモ知レマセヌガ、
若シ國ノ法律ニ國民ノ大多數ガ守ツテ行ケ
ナイ法律ガアリ、又サウ云フ物價政策ナル
モノガアツテ、之ヲ大目ニ見テ居ルノガ相
當オアリニナルデハナイカ、例ヘバ木炭ノ
如キ、或ハ其ノ他ノ生活必需品ノ如キ、或
ハ肥料ノ如キ、是ハ九、一八ノ價格ヲ一ツモ
守ツテ居ナイ、津々浦々マテ守ツテ居ナイ、
併シナガラ是ハ取締ルニ取締レス、斯ウ見
マスト其ノ取締レザルモノヲ取締ラウトシ
テ定メタ物價政策ニ於テ誤リガアル、取締
レルモノヲ取締ツテ行カナケレバナラナ
イ、私ハ經濟警察ハ法ノ上ニ於テ何モ彼モ
違反ヲシタ者ハ取締ルノダト云フ御方針デ

ナク防犯ニ力ヲ注ギ更ニ事情ニ依テハ大目
ニ見過シテ居ルノデアルト思ヒマス、併シ
ナガラ今後内務大臣ト致シマシテ、所謂國
務大臣トシテ現在ノ物價政策ハ、重點主義
ヲ執ルガ宜イト思ハレルガ、今ハ洵ニダラ
シガナイ、一面ニ於テハ議會ニ於テ既ニ附
帶決議ヲサレテ、サウシテ此ノ物價政策ニ
付テ闇相場ガ横行シテ居ル、之ヲ取締ラナ
ケレバナラヌト云フ現狀ニアツテモ、即チ
御取締リガ御言葉ノヤウニハ出來テ居ナ
イ、私ハ取締リガ出來テ居ナイコトヲ非難
スルノデハナイガ、今後物價政策ニ付テ内
務大臣ハ國務大臣トシテドンナ御考ヲ御持
チニナルカ、此ノ點ニ付テ御答辯ヲ願ヒタ
イト思ヒマス、更ニ委員長ニ御願致シタイ
コトハ、商工大臣ガ御出席出來マセヌケレ
バ、物價局ノ次長デモ御出席ヲ願ヒタイト
思ヒマス

スノデ、其ノ點ニ重點ヲ置イテ參々タ詳デ
アリマス、而シテ此ノ度ノ増稅ガ、是トド
ウ云フ關聯ヲ持ツカト云フ御話デアリマス
ガ、固ヨリ其ノ點ハ增稅ニ際シマシテモ、
十分委員諸君茲ニ嘗該官吏モ注意ヲシ研究
ヲ致シタノデアリマシテ、此ノ度ノ増稅ノ
主タル目的ハ度々申上ゲマス通り、負擔ノ
均衡ト經濟政策ニ對スル調和、ソレカラ增
稅竝ニ擔稅力ノアル稅制ニスルコト、稅法
ノ簡易化、斯ウ云フコトニ主力ヲ置イタノ
デアリマスガ、是ト同時ニ御話ノ生產擴充
ヲ阻害シナイヤウニ、又生活必需品等ニ對
シテ、異常ナル惡影響ヲ及ボサナイヤウニ、
又輸出振興ニ對シマシテモ打撃ヲ與ヘナイ
ヤウニト云フ點ニ付キマシテハ、相當注意
ヲ拂ツテ此ノ稅制案ヲ作ツタヤウナ譯デア
リマス、大體ニ於テサウ云フ趣旨ト御諒解
ヲ願ヒマス

居ルノデアリマス、而シテ物價ノ問題ニ付
テハ、先程大藏大臣ガ述ベラレマシタ通り
ニ考ヘラレテ居リマスノデ、低物價政策ヲ
堅持シツツ適正ナル價格ヲ茲ニ定メテ、サ
ウシテ國民ノ生活上ノ安定ヲ圖ルト云フ方
針ニ出ヅルヨリ外ナイト考ヘテ居リマス
○堀切委員長　只今ノコトニ關聯シタモノ
デアリマスカラ、一寸内務大臣ニ御尋シテ
置キマスガ、昨年ノ十二月或ル縣ノ縣會ニ
於キマシテ、經濟警察違反事件が過去一年
間ニ何件アツタカト云フ質問ニ對シテ、縣
ハ二十万件アツタト答ヘマシタ、戸數三十
万ノ縣デ經濟警察違反ガ一年間ニ二十万件
デハ、三人ニ一人經濟警察違反ニ引掛ツテ
居ルノデアリマス、サウナツテ來ルト抑、法
律命令其ノモノノ方ガ無理ナノデハナイカ
ト云フ感じガ起ルノデアリマスガ、其ノ根本
ヲ何トカシナイデ、取締バカリヲ嚴重ニサ
レタラ、國民ノ大半ハ皆犯罪人ニナルヤウ
ナコトニナルト思ヒマスガ、今ノ根本ノサ
ウ云フ犯罪ナカラシムルヤウナ方法ニ付テ、
モウ少し御考慮ヲ願ヘナイモノデセウカ、
斯様ニ考ヘマスガ、内務大臣ハ如何御考デ
スカ

隨テ第一ニハ此ノ法令ノ内容ノ周知ニ能ク
努メ、而シテ之ニ對スル民間ノ事情モ警察
官ガ能ク之ヲ心得マシテ、兩々相俟ツテ法
シマシテモ一面ニ於テ直接起ツテ來ル問題
ハ物價ノ問題デアリマスカラ、此ノ物價構
成ノ方針ガ確立致シマセヌト、經濟警察ト
シテハ其ノ活動ヲ適正穩當ナラシメルノニ、
非常ナ苦心ヲ要スル點ガアルト私ハ思ツテ
居ルノデアリマス、隨ヒマシテ只今申上ガ
マシタヤウニ、單ニ警察ノ活動ノミヲ以テ、
萬全ヲ期スルコトハ出來マセヌノデ、一面
ニ於キマシテハ法其ノモノノ適正ナルコト
モ必要デアルシ、又法ノ周知モ必要デアリ
マスノデ、是等ノ點ハ兩々相俟ツテ其ノ運
用ヲ致スニアラズバ目的ヲ達シ難イト考
ヘテ居リマスノデ、只今ノ御話ノ通り可ナ
リ多數ノ違反者ヲ生ジタ過去ノ事實ニ鑑ミ
テ、吾々ハ大ニ深キ思ヲココニ致サナケ
レバナラヌト考ヘテ居ルノデアリマス
○堀切委員長　内務大臣ハ法ヲ知ラヌ爲
ニ、之ニ慣レナイコトヲ以テ主ナル原因ノ
ヤヴァニ御考ニナツテ居ルヤウデゴザイマス
ガ、私ノ考トシテハ、法其ノモノガ惡イノ
デハナイカ、法其ノモノハ國民ガ之ヲ守ル
ノガ當リ前デ、之ヲ破ル者ハ僅カシカナイ
ノダト云フヤウナ建前ニ於テ法ガ出來テ居
ナケレバ、無理デハナイカト私ハ考ヘルノ
デアリマス、サウ云フ點ニ尙ホ御留意ニナ
レバ、結構ダト云フ意味デアリマス
○松永委員　關聯事項トシテ私ノ御質問シ
タイコトハ、大藏大臣及ビ商工大臣ニ關係
シタコトデアリマスガ、低物價政策ト增稅
ト國民生活トノ關係デアリマス、是ハ私ガ

茲ニ申上ガルマデモナク、税金ノ中ニハ轉嫁シ易イモノト、シニクイモノガアリ、直接税ハ轉嫁シニクイガ、間接税ハ割合ニ轉嫁シ易イト言ハレテ居リマスガ、其ノ間接税デアル砂糖消費税ニ付テハ、相當ナ増税ニナツテ居ルノデアリマス、砂糖ハ御菓子トカ、或ハ使用方法ニ依ツテハ贅澤品トナルノデアリマスガ、大體ニ於テはオ臺所ニ使ハレル生活必需品デハナイカト思フノデアリマス、而モ、砂糖會社ノ現状ハ、例ヘバ大日本製糖或ハ其ノ他ノ製糖會社ノ考課狀等ヲ具サニ見ルト、色々ノ事情ニ依ツテ非常ニ多額ノ増益ヲ來シテ居ルモノヲ、私共ハ承知致シテ居ルノデアリマス、隨テ砂糖ノ消費税ガ上ツテ來マスト、普通ナラバ轉嫁シ易イモノデアリマスカラ、當然價額ノノ上リマスニ付テ、砂糖會社ガ其ノ價格ノ當ノ支出方殖エルト云フ結果ニ陷ルダラウナト思フノデアリマス、隨テ此ノ砂糖消費稅ノ上リマスニ付テ、吾々ノ臺所ニ於テ相上ニ之ヲ幾ラカ轉嫁シテ行クト云フヤウナコトハ、吾々ノ國民生活上ニ非常ナ影響ガアル、他方ニ度々大藏大臣カラ御話ガアツタ如クニ、税金ト云フモノハ一方ニ購買力ヲ吸收スルト同時ニ、他方税金ノ取立テ方ニ依ヅテハ物價ノ騰貴ヲ來シテ、國民生活ニ影響ヲ及ボスモノガアル、殊ニ間接税ニ於テ強イト云フコトハ私ノ蝶々ト要シナイコトデアリマス、是ハ大藏大臣ニ御尋シ、尙又商工大臣ニモ御尋スルコトニナルノデアリマスガ、砂糖消費税ノ増徴ニ依リマシテ、砂糖ノ値上ゲニハナラナイノカドウカ、御伺致シタイト思ヒマス

度ノ増稅ニ付キマシテモ、多少考慮ヲ拂ツタノデアリマス、隨ヒマシテ他ノ間接稅ハ三割程度ノ増徵デアリマシタケレドモ、砂糖ノ方ハ二割程度ニナツテ居リマス、砂糖ノ現在ノ消費ノ狀態ヲ見マスト、其ノ六割以上ガ菓子ノ方面ニ使ハレテ居リマシテ、家庭用ノ方ハ四割以下ニナツテ居リマス、ソレト最近ノ消費ノ狀態ガ非常ニ激増シツツアルヤウナ狀態デアリマシテ、是等ノ點ヲモ考慮ニ入レマシテ、此ノ度ノ砂糖消費稅ヲ増徵致スコトトナツタノデアリマス、ソレカラ砂糖會社ガ販賣スル場合ニ於テ、價格ヲ上ゲズシテ砂糖ヲ從來通リ販賣スルカ否カト云フコトニ付キマシテハ、是ハ要スルニ販賣價格ノ一つノ要素トナリマスノデ、場合ニ依ツテハ此ノ稅額ダケ、或ハ稅ノ範圍内ニ於テ價格ノ上ニ考慮サレルコトガナイモノダト考へテ、今考慮致シテ居ル譯ナイトハ限リマセヌケレドモ、出來得ル限りハ價格ヲ稅ニ準ジテ上ゲルヤウニシタクナイモノダト考へテ、今考慮致シテ居ル譯ナイトアリマス、畢竟スルニ幾分カ値段ヲ上ゲル要素ニハナルト思ヒマスクレドモ、出來得ル限りサウ云フコトノナイヤウニ指導シテ行キタイト思ツテ居ルノデアリマス○濱野委員 私ハ此ノ際大藏大臣ニ質問致スト云フヨリモ、寧ロ御注意申上ゲタイト思ヒマス、低物價政策ト云フコトハエライ喧シク言ハレテ居リマス、隨テソコカラ又閣取引ト云フヤウナ面白カラ又行爲ガ出来ルノデアリマスガ、官邊ニ於テ此ノ低物價政策ヲ、公然ト破ツテ居ルヤウナ行爲方現ハレテ居ルノデス、勿論是ハ競賣法ノ結果デアラウト思ヒマスガ、具體的ニ申シマスト、大阪ノ稅關ニ於キマシテ昭和十四年

十一月八日午前十時ニ、税關築港波止場ノ
南二號上屋ノ中デ競賣ガアツタノデス、其
ノ品物ヲスツカリ讀ミ上ゲマスト、謹謨ガ
百五十五斤、此ノ總價段ガ二百三十圓、所
ガ謹謨ノ標準價段ガ一封度八十錢、賣却值
段一封度ガ此ノ競賣價段ニ依ルト一圓二十
三錢ニ付イテ居リマス、屑謹謨ニ付テ申シマ
スト、七十五斤ノ競賣價段ガ八十六圓、所
ガ屑謹謨ノ最上級ノモノノ公定價段ガ、一
貫匁一圓二十錢ニ定メラレテ居リマス、此
ノ競賣價格ニ依ルト一貫匁七圓十二錢、即
チ六倍ニナツテ居リマス、又棉ハドウカト
云フト、百六十二斤、此ノ總賣却價段ガ二
百五十九圓、此ノ公定價格ガ百斤デ六十一
圓三十九錢デアリマスガ、此ノ賣却價段ヲ
百斤ニ引直シマスト百五十九圓餘ニナツテ
居リマシテ、公定價格ノ二倍半ニナツテ居
リマス、珈琲豆ニ付テ申シマスト、六十斤
デ賣却價段百一圓、此ノ公定價格ハ百斤デ
百七圓ノノデアリマスルガ、此ノ競落價段
ヲ百斤ノ單價ニ引直シマスト百六十八圓
トナリマス、百七圓ノモノガ百六十八圓ニ
付イテ居リマス、更ニ別口ノ珈琲豆ガ九十
三斤、賣却價段ガ百五十一圓、公定價格百
斤デ百七圓ノ所、此ノ競落價段ヲ引直シマ
スルト、百斤百五十一圓ニナツテ居リマス、
是バ單ニ聞イタコトデハアリマセヌ、法廷
ニ現ハレタコトナノデアリマス、闇取引ニ
付テ少シバカリ公定價格ヲ上廻ツタ云フ、
云フト、此ノ事實ヲ聞知シタノデ、官邊デ
カラ、此ノ事實ヲ提ガテ私ガ法廷デ迫ツタ、
サウスルト檢事ハ立會ツテドウ言ツタカド
ヤナイカト云フ交渉ヲ大阪ノ税關ニシタノ

デアリマス、所ガ税關ノ方デハ罰金ヲ徴徴
スペキ所、其ノ罰金ガ取レナイノデ、ソレ
ヲ高ク競落サセテ埋合セニシタノダト云フ
返事ガアリマシタカラ、私ノ方デハ之ヲ
罰スルコトヲセナシダ、斯ウ云フノデス、ソレ
勿論私ハ官邊ニ對シテ處罰ヲスルコトガ出
來ルカドウカ知リマセヌガ、斯ウ云フ法廷
於ケル公式ノ問答ナノデス、事實ヘ斯ノ如キ
モノデス、私ハ是以上ノコトヲ申上ゲマセヌ
或ハ競賣法トカ、競落法トカ云フモノガマ
ツテ、耀上ガテ行クノダカラ已ムヲ得ニ
イト言ハレルカモ知レマセヌ、ケレドモ、之
ヲ經濟上ノ現象カラ見レバ、珈琲豆ハ百目
ノ單價ガ百七圓デアルモノガ百六十八圓ニ
賣ツテモ尙ホ市場價值ガアル、何處ヘデモ
賣ツテ行ケルモノダト云フコトヲ考ヘ
ト、今ノ低物價政策ト云フモノハ、官僚並
机上ノ空論カラ割出シテ、サウシテ中央監
價委員會ニ諮詢シテ、ソレガ其ノ儘通ツ
シマツタモノダ、サウ云フ結論ガ生レテ來
ルモノダト思フ、低物價政策ト云フヤウナ
モノハ、役人ガ机上デ一片ノ空理空論カラ
思付キカラ作ツタモノデハ駄目ダト云フ
トヲ示シテ居ルモノダト私ハ思フ、茲ニ
テ御聽キシタイノハ、此ノ税關ノ官吏ノ
任ナドヲ聽クト云フヤウナ吝ナコトヲ私ハ
考ヘテ居リマセヌ、是ハドウ考ヘテ見テモ
低物價政策ト競賣法ト云フモノトハ矛盾
テ居ルノダハアリマセヌカ、競賣法ハ成ベ
ク高ク耀上ガテ賣ラウトスル、所ガ低物價
政策ハ其ノ頭ヲ抑ヘヨウツル、是ハ明
矛盾シテ居ルノデスカラ、何カ御考ニ
必要ハナイカ、ソレカラ事モアラウニ東洋
ノ玄關デアル大阪ノ税關デ、シヤア／＼
斯ウ云フコトヲヤツテ其ノ儘ニシテ居ラ

ルト云フコトハ、洵ニ私ハドウカト思フ、是
以上ノコトハ申上ゲマセヌケレドモ、十分
御考慮ニナツテ、先づ第一ニ此ノ競賣法ニ
付テ、何等カノ御考慮ヲ廻ラサレル必要ガ
アルノデハナイカト考ヘマス

○櫻内國務大臣　只今御話ノ件ハ私初メテ
耳ニ致シタノデアリマス、ソレハ十分調査
シテ適當ナル方法ヲ講ジタイト思ヒマス、
ソレニ附帶致シマシテ競賣法ヲ改正スル意
思ガナイカト云フ御話デアリマス、御話ノ
如ク今日ノ價格ノ状態ヲ、將來適正價格ト
云フモノヲ持ヘテヤツテ行ク上カラ申シマ
スト、競賣法ヲ改メテ公定相場ニ於テ下渡
ストカ、或ハ賣渡ストカ云フコトニ致スノ
ヲ適當カト思ヒマスガ、只今承ツタバカリ
デアリマスカラ、甚ダ疎イヤウデアリマス
ガ、十分ニ考慮シテ適當ノ機會ニ御返事由
上デマス

○板谷委員　關聯事項デ……、只今委員長
ガ物價問題ニ對シテ全國ノ違反者ガ二十万
人カラアル……

○堀切委員長　一縣デス

○板谷委員　一縣ニ三十万人カラアル、之ニ
對スル内務大臣ノ御答辯ハ、將來ニ於テハ
出來ルダケ注意スルト云フヤウナ、極メテ
抽象的ノ御話デアツタノデアリマスガ、何
ノ爲ニ斯ウ云フ澤山ナ違反者ガ出來ルカト
云フコトヲ、アナタハ御研究御調查ニナリ
マシタカ、要スルニ、前内閣ノコトデハア
リマスケレドモ、九・一八ノ不自然ナル物
價停止令ヲ出シタ結果デアルト云フコトハ、
言フマデモナイコトデアリマス、隨テ政府
ガ罪人ヲ製造シテ居ル形ニナツテ居ル、ダ
カラシテ先般來大藏大臣ト他ノ委員トノ
間ノ質問應答ヲ承ツテ居リマスト、財政政

卷之三十一

第三對シテノ見透シノ或ハ見解カ相違スル
カモ知ラヌ、併シナガラ經濟政策、物價政
策ニ對シテハ破綻ヲ生ジテ居ル譯デアル、斯
ウ御認メニナリマスカ、昨年ノ議會ニ於テ
現在ノ總理大臣ガ何ト言ツテ居リマスカ、
定メシ御記憶ガアルデアリマセウ、經濟ニ
ハ限度ガアル、統制ニハ限度ガアル、統制
ニ統制ヲ重ネテ行ツタナラバ、行詰リヲ生
ジテ國ガ滅ビルト云フコトヲ仰シヤツテ居
ル、恐ラクハ今モ其ノ御信念ニハ變リガナ
イト思フ、現在ノ闇取引ヲ根絶スルト云フ
コトハ、要スルニ九・一八ノ物價停止令ナル
モノヲ廢止シテ、之ニ對スル適當ナ所謂物
價政策ト云フモノヲ立テナケレバナラヌ、
ナコトガ出テ居リマシタガ、現在ニ於テハ
今朝ノ新聞ヲ見マスルト、内閣ニ於テモソ
モノヲ廢止シテ、之ニ對スル適當ナ所謂物
價政策ト云フコトハ、稅制改正ニモ重大
ナ關係ガアルコトデアリマスルガ、今申上
ルノデアリマス、デアリマスカラシテ此ノ
モノヲ廢止ヲシテ、新ニ適正價格ヲ行フニ
付テハ、隨テ現在ノ公定價格ヨリハ値段ヲ
ゲマズルヤウニ九・一八物價停止令ト云フ
モノヲ廢止ヲシテ、新ニ適正價格ヲ行フニ
付テハ、隨テ現在ノ公定價格ヨリハ値段ヲ
幾ラカ上ガナケレバナラスト云フ結果ニナ
ル、又從來前内閣カラ繼承シテ居ル物價政
策ナルモノハ、破綻ヲ生ジテ居ルト云フコ
トニ付テ、大臣ハ御認メニナリマスカ、此
ノ點ヲ一ツ伺ツテ置キマス

非常ニ努力致シテ居ルノテアリマフケレ
モ、其ノ效果ガ十分徹底スルヤウニ譽ガツ
テ参リマセヌノデ、今日モ尙ホ其ノ點ニ付
キマシテハ、此ノ改善ニ對シテ非常ニ考慮
ヲ拂ハナケレバナラヌト、斯様ニ考ヘテ居
ルノデアリマシテ、物價委員會ノ機構ヲ改
正致シマシタノモ、其ノ改善ヲ致ス爲ノ一
段階デアリマス、尙ホ極メテ最近ニ於キマ
シテ、物價問題ヲ解決スル實行上ノ方策ニ
付キマシテモ、考慮シテ參リタイト思ツテ
居ルノデアリマシテ、從來ヨリヤリ來ツタ
シテ、物價政策ノ問題ガ、十分效果ヲ現ハ
シ得ナイト云フコトハ、甚ダ遺憾ト存ジテ
居ルヤウナ譯デアリマス

○板谷委員 モウ一點伺ヒタイ、只今ノ御
答辯ニ依リマスト、現在ノ經濟界ニ於テ物
價政策ニ對シテ相當ノ動搖ヲ來シツツアル
ト云フコトハ御認メニナリマセウカ

○櫻内國務大臣 現在閣取引ガ尙ホ現存致
シテ居リマシテ、其ノ取締ニモ相當困難ガ
アリマスノミナラズ、又其ノ閣取引ガ起ル
原因等ニ付キマシテハ、ドウシテモ其ノ根
本ヲ改善シテ行カナケレバナラヌ、斯様ニ
考ヘテ居ルノデアリマス

○北委員 關聯事項デ……内務大臣ハ閣取
引ハ物價ノ適正デナイト云フ所カラ來ルノ
デアルカラ、嚴罰主義デ行カズニ穩當ニ取
締ルノダト、斯ウ言ハレマスガ、ソンナ生温
イコトデ果シテ此ノ低物價政策ト云フモノ
ノ重大ナル目的ガ達成サレルデアリマセウ
カ、此ノ根本ハ利己主義、個人主義デアル
所ノ營利主義カラ來テ居ルモノダト、私ハ
斯ウ考ヘルノデアリマス、即チ自由主義的
商業主義、是カラ來テ居ルノダト、斯ウ思
フノデアリマス、是ハ法ヲ作ル者ヨリモ、

商ノ達ノ方ガ智慧ハ上ナノテアル、ソコテ
商人達ハ曰ク、ドンナ法律ヲ作ツテモ、規則
ハ出来テモ幾ラモ方法ハアルト言ツテ居
ル、私ハ是ハ事實ダト思ツテ居ルノデアリ
マス、最近ニ於キマシテハ公定價格ヲ決メ
ルト、規格品デナイモノバカリヲ作ル、斯
ウ云フヤウナヤリ方ラスル、例ヘバツイ此
ノ間汽車中デ、樺太ノ町長サント一縁ニナ
ツテ色々話ヲシテ來タノデアリマスガ、サ
ウスルト地下足袋が一足五圓ダト言フ、ソ
ンナ馬鹿ナコトハアリスマイト言フト、
イヤ地下足袋ダケレドモ、爪先ノ拇指ノナ
イモノヲ作ツテ、是ハ地下足袋デナイト言
ツテ一足五圓デ賣ツテ居ル、軍手ニ色ヲ付
ケテ、是ハ軍手デナイト言ツテ一組七十錢
合デヤルノデアルカラ幾ラモ賣レル、近
頃ハ自動車ニ乗ルノニ遠イ所ヘ行ケト言フ
アル、又サウ云フ規格品ヲ作ラヌデモ、馴
合デヤルノデアルカラ幾ラモ賣レル、國民
法デハドウスルコトモ出來スト思フ、國民
ハ故意ニヤリ出シタラ、是ハドウシテモイ
カヌ、儲ケ主義ニ墮シタ連中ハ、ドンナコト
ヲシテデモ其ノ方法ガアルノデアルカラシ
テ、ソコデ是ハ營利主義デヤル以上ハ、ド
ウシテモ避ケ得ラレナイ、此ノ闇取引ノ重
大ナル原因ガソニアルノデハナイカ、此
ノ重大ナル原因ヲ突カズニ物價政策ヲ幾ラ
ヤラシテモソレハ成功スルモノデハナイ、
丁度商工大臣ガ居ラツシヤラヌガ、商工大
臣ハソレハ經濟機構ノ問題デハナイ、運用
ノ問題ダト言ツテ居ラツシヤルノデアリマ
スガ、經濟機構ノ問題ヲ離レテ、ドウシテ

期^{シテ}云フ問題^ヲ解^ク出^ス來^マセウカ、利^ハ商^ハ工^ハ大^臣ノ言^ハレルコトヲ非常ニ妙ニ考^ヘテ居^ルノデアリマスガ、兎ニ角此ノ重大ナル原因ヲ商^ハ工^ハ大^臣ナリ、大藏^{大臣}ナリハドウ考^ヘテ居^ラレルカ、之ヲ一ツ伺^ツテ置^カナケレバナラスト思^フ、重大ナル物價政策^デアリマスカラ、ソコ^デ私^ハ關聯シテ御^シテ置^クノデアリマス

○櫻内國務大臣 今北君ノ御話ノ點ハ、是ハヤハリ十分考慮シナケレバナラズ點^デアリマスガ、此ノ闇取引ヲ根絶致シマス一ツノ方法トシテハ、御承知ノ通り營利主義^デハナクシテ、所謂自ラ製造シテ自カラ配給スルト云フ風ナコトモ考^ヘラレマスケレドモ、今日直チニ此ノ問題ヲ、サウ云フ風パカリニ解決シテ行クコトハ困難デアリマシテ、ヤハリ適正ナル價格ニ依ツテ、サウシテ配給機構ヲ完成シテ、配給機構ノ改善ト適正價格トニ依リマシテ、公定シタル物價ノ完全ニ遂行サレルコトニ努力スルヨリ外ナイト、斯様ニ考^ヘテ居^ルノデアリマス○渡邊委員 マダ價格問題ニ付キマシテハ種々御尋シタイコトガアリマスケレドモ、大藏大臣ガ御多忙ノヤウデアリマスカラ、私ノ第二問ニ移リマシテ、此ノ問題ハ更ニ後カラ追加スルコトニシタイト思ツテ居リマス、其ノ第一問ニ移リマス前ニ、今ノ物價問題、闇相場横行ノ事實ヲ、大藏大臣ハ御認ニナツテ居^ルカドウカト云フコトヲ、ハデアリマスガ、事實實際問題トシテハ、相當廣範圍ニ亘ツテ行ハレテ居^ルノデハナイカト思ヒマシテ、何トカシテ之ヲ根絶、或シテ居ルト云フコトハ實^ハ考^ヘタクナインツキリ御答ヲ願ツテ置^カタイト思ヒマス○櫻内國務大臣 私共ハ此ノ闇取引ノ横行

斯ウ云フコトノナイヤウニ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○渡邊委員 ソコデ更ニ私ハ方面ヲ變へテ質問ヲ致シタイノハ、今度ノ税法ノ改正デ減損更訂ヲ認メナイノダ、之ヲ廢止シタ、其ノ理由如何、私ハ長期建設ノ段階ニアル我國ノ現下ノ財政經濟諸事情ニ照ラシマシテ、或ハ物ノ配給、或ハ物資ノ缺乏、或ハ最近ノ例カラ言フナラバ電力ノ缺乏ニ依ツテ、國家ノ爲ニ仕事が出來ナクナツタモノガ隨分アル、サウ云フノヲ前年ノ實蹟ダケデヤツテ、減損更訂ヲ認メナイコトニシタ、其ノ理由ヲ明ニ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 減損更訂ノ問題ニ付キマシテハ、政府委員カラ御答致シマス

○大矢政府委員 御承知ノ通り現行法ニ於キマシテハ、減損更訂ノ制度ガアルノデアリマスルガ、是ハ總テノ仕事ニ付デハゴザイマセヌ、或ハ營業所得トカ、或ハ俸給所得等ニ付デダケ認メラレテ居リマス、ソレデ此ノ度ノ改正ニ於キマシテハ、總テ前年ノ實蹟ニ依ツテ課稅シテ行ク建前ヲ採リマシタカラ、隨ヒマシテ狀況ノ惡イ場合ニハ、翌年惡イ程度ニ應ジテ課稅ヲ輕減サル、或ハ課稅ヲ受ケナイト云フコトニナツテ、一年順繩ニ遲レテ行ク關係ニナリマシテ、寧ロ此ノ方ガ總テノ種目ニ瓦ル課稅方法デハ、適當デナカラウカト、斯ウ考ヘタ次第デアリマス

○渡邊委員 私ハ大臣ノ御答辯ヲ希望シタイト思ツテ居リマス、御多忙デスカラ簡單ニ申シマス、此ノ減損更訂ナルモノハ、非常ナ官僚獨善ノ事實ヲ現ハセルモノデアル、斯ウ云フヤウナコトハ、恐ラク大藏大臣ハ御承知ガナイコトデハナイカト云フコトヲ、私ハ信ジテ居リマス、例ヘバ營業者ガアツテ、今年大變損ヲシタ、併シナガラ前年ノ實蹟デ税金ヲ出サケレバナラヌ、ソレデ税金ノ爲ニ破産ラスル、斯ウ云フヤウナ事實ガ現ハレテ來ルベキ筈デアリマス、何故減損更訂ヲシナイカ、事實其ノ年ニ損ノイツタモノヲ、今マデノ例カラ見マスト、四分ノ一以上損害ノイツタ時ニハ、減損更訂ヲシテ、サウシテ其ノ査定ラスル、税額ヲ取直スノダト云フコトデアリマスノニ、此ノ戰時下ニ於テ、殊ニ經濟界ノ變轉常ナキ今日ニ於テ、ソレヲ廢スルト云フコトハ、甚ダ不都合デアルト思フノデアリマスガ、大藏大臣ヨリ御答辯ヲ願ツテ見タイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 今ノ御話デアリマスガ、御承知ノ通り現在ハ前年來ノ實蹟ニ依ツテ、本年課稅致スノデアリマシテ、前年度ノ收益ニ對シテ課稅ヲ致スト云フ建前カラ申シマスト、本年利益ガアラウガアルマイカ、ソレニ對シテ課稅ヲスルト云フ事柄ガ正當デアルノデアリマス、併シ餘程古イ前ニ豫算課稅ノ問題、實蹟課稅ノ問題ガアリマシテ、學者間ニモ色々議論ノアツタ問題デ渡邊君ノ御話ノ通り昨年利益ガアツテ、今年非常ニ損ガ立テバ、利益ノアツタ時ハ、其ノ金ハ取ツテ積ンデ置クト云フ風ナコトハ、今日殆ドヤツテ居ナイノデアリマスカラ、本年利益ガナクテ、非常ナ損ガ立ツタト云フ

○大矢政府委員 是ハ一寸場合ガ違フノデアリマシテ、前年改正ニナツタノハ、個人經營ヲシテ居タモノガ、會社經營ニ移ツタ場合ニコトデゴザイマセウカ——左様致シテアリマス

○渡邊委員 私ハ大臣ノ御答辯ヲ希望シタ

法デハ、適當デナカラウカト、斯ウ考ヘタ

次第デアリマス

案トシテ提案シタ中ニハ、マダハツキリシ
テ居ナカツノデアリマスルガ、税制調査
會ニ於キマシテ色々御意見ヲ伺ツテ見ルト、
ドウモ從來ノヤウニ實蹟課稅ヲシナガラ、
或ル場合ニハ豫算課稅ヲスルト云フノハ非
常ニ不合埋ダ、寧ロ實蹟課稅ニ總テ改メタ
方ガ適當デハナカラウカ、斯ウ云フ御意見
ガアリマシタノデ、色々考究ヲ致シマシテ、
サウシテ最後ニ實蹟課稅ニ總テ統一スルコ
トニシテ、税制調査會ニモ御諮リ致シマシ
テ、全會一致ノ御賛成ヲ得タ次第デアリマ
ス、要スルニ總テ前年ノ實蹟ニ依ツテ其ノ
年分ヲ決定シテ行クノデアリマスカラ、課
稅ハ順繰リニ一年遅レニナツテ行クノデア
リマシテ、澤山儲ツタ時ニハ翌年ソレニ相
應スル課稅ヲ受ケル、儲ケノ少カツタ場合
ニハ少イ課稅ヲ受ケル、損ヲシタ場合ニハ
全然課稅ヲ受ケナイト云フヤウニ、總テ一
年順遅レニナツテ行クノデアリマス、但
シ又全ク實蹟課稅ニ徹底シテシマヒマス
ト、或ル場合ニ無理ガ起ツテ來ルノデアリ
マス、例ヘバ營業ヲ相當大規模ニ致シテ居
リマスル者ガ、何カノ事由ニ依ツテ營業
ガ蹉跌シテ、殆ド商賣モ出來ナクナツ
タ、資產モナイ、借金デ首ガ廻ラヌヤウニ
ナツタ場合ニ、前年多額ノ所得ガアツタカ
ラト云ツテ、其ノ儘ノ課稅ヲ受ケテハ、是ハ
非常ニ困ルカト思ヒマシテ、其ノ點ヲ救濟
スル規定ハ別ニ置イテアリマシテ、災害、
失業其ノ他ノ事由ニ依ツテ、納稅者ガ著シ
ク資力ヲ喪失シテ納稅困難ト認メラルル場
合ニハ、課稅ヲ輕減シ又ハ免除シ得ルト云
フ規定ヲ設ケマシテ、此ノ規定ノ活用ニ依
ツテ、サウ云フヒドイ場合ノ救濟ハ致サウ、
斯ウ云フ風ニ考ヘテ、新シク其ノ規定ヲ設

メヨウト云フ次第デアリマシテ、從來ノ減損更訂ノ適用ヲ受ケル種目ヨリモ、廣範圍ニ致シテ居ル次第デアリマス、ソレカラ現實ノ問題ト致シマシテ、減損更訂ニ於テ餘程不合理ノ場合ガ生ズル事例ニ、最近屢々出會シタ譯デアリマス、例ヘバ銅鐵商ノ一ツノ例ニ舉ゲテ見マスルト、銅鐵商ハ事變前ニ於キマシテハ普通ノ利益ヲ舉ゲテ、年一万圓位ノ純益ガアツタ、然ルニ此ノ事變下ニナリマシテ、急ニ扱フ商品ノ値上リ等ニ依リマシテ、十万圓、二十万圓ノ純益ヲ擧ゲタト云フ例ハザラニアツタノデアリマス、隨ヒマシテ之ニ對シマシテ、營業収益税、所得稅、臨時利得稅ノ如キモ相當多額ノ課稅ヲ致シタノデアリマスガ、翌年ニ於キマシテハ其ノヤウニ儲ラナクナツタ、事變前ヨリハ儲ルガ、二十万圓ト云フヤウナ利益ガ舉ガラス、二万圓カ、三万圓ノ利益シカ舉ガラス、斯ウ云フ場合ニハ、今ノ減損更訂ノ規定ノ適用ニ依ツテ、私ハ前年二十万圓ノ決定ヲ受ケタケレドモ、今年ハ純益ガ二万圓シカナイカラ、更訂處分シテ吳レト言ヘバ、更訂セザルヲ得ナイ、隨ヒマシテ其ノト云フヤウナ結果ニナツテ、折角臨時利得稅、所得稅、營業収益稅ヲ、儲ツタ額ニ應ジテ相當課稅シヨウトシタノガ、此ノ爲ニ壞サレテシマフ、斯ウ云フ事例ガ得出テ來タノデアリマシテ、此ノ戰時事變下ニ於テ斯ノ云フ事例ガ相當多クアリマス、ソレデ稅

結局一年遅レニ課税ヲ受ケテ行クノダカラ、寧ロ斯ノ如キ不合理ナル減損更訂ノ制度ハ廢止シタ方ガ宜イデハナカラウカ、併シ全然之ヲ廢止シタ切りニスルト、ヤハリ無理ガ掛ル場合ガアルカラ、ソレヲ救濟スル規定ハ是非設ケナケレバナラヌ、其ノ規定サヘ設ケテ居レバ、減損更訂ノ規定ハ寧ロ廢止シタ方ガ宜カラウ、斯ウ云フノデゴザイマシテ、私共十分検討致シマシテ、洵ニ御尤モト思ヒマシテ、最終案ニハ今回議會ニ提案シタト同ジ案ヲ出シマシテ、稅制調査會ニ於テモ十分御諒解ヲ得タ、斯ウ云フ次第デゴザイマス

今ハ議會中ダカラ米ハ圓滑ニ來テ居リマス
ガ、議會ガ濟ンダラ此ノ米ガ圓滑ニナルカ
ナラヌカ分ラスト云フコトヲ、私ハ承知シ
テ居リマス、然ルニ去年ノ十月、十一月ニ
閣相場デ貰ツタト云フノデ檢舉サレタガ、
其ノ爲ニ賣切レ申候ト云フ看板ガ方々ニ出
ナカツタト云フ功績ガアツテ、穩カニ帝都
ガ來テ居ルノデハアリマセヌカ、ソレヲ濟
ンデシマツテカラ検舉スルト云フノハ非常
ニ矛盾シテ居ル、先程内務大臣ノ御答辯ガ
アツタサウデスケレドモ、是等ニ付テハ
十分御考慮ヲ戴カナケレバナラヌ、前内務
大臣ニ何時カ御目ニ懸ツタ際、之ヲ検舉ナ
サルカト云ツテ聽イタラ、是ハ出來マセヌ
ト云フ御話ガアリマシタノデスカラ、若シ
サウ云フコトガアツタラ、内務大臣ハ適當
ノ御處置ヲ以テ、穩カニ進ンデ行クコトガ
出來ルヤウニ、此ノ機會ニ於テ御願申上ゲ
テ置キマス

サシテ行ク譯デアリマスカラシテ、其ノ點ス
ハ別ニ苛酷ニハナラスト存ズルノデアリマ
ソレカラ儲ケタ者ハ追加シテ取ルト云フ
御話デゴザイマスケレドモ、是ハ別ニサウ
云フ譯デハゴザイマセス、適切ナル課稅
ヲ初メカラ受ケテ居レバ、追加決定ト云フ
コトハ起ツテ來マセヌ、間違ツテ實際ニ納
ムベキ額ヨリモ遙ニ少イ課稅ヲ受ケテ居ル
場合ニ、追加決定ノ問題ガ起ルノデアリマ
シテ、普通ノ課稅ヲ受ケテ居レバ、追加決
定ノ問題ハ更ニ起ツテ來ナインデアリマス
○渡邊委員 遙ニ違フトハドウ云フコトヲ
言フノデスカ、ドレダケ違フト追加決定ヲ
シ、ドレダケ違ハバ追加決定ヲシナインノ
カ、更ニ災害ノ時ニ稅ヲ引クカラ、四分ノ
一以上ノ差ノアル時ニ之ヲ認メナクトモ宜
イト云フ、ソレハ少シク違ツテ來ルノデハ
アリマセヌカ、災害ノアル時ハ當然過去ニ
於テモ引カレテ居ツタノデアル、更ニ御答
辯ヲ願ヒマス

減損シタ場合、斯ウ云フ御話デアリマスケレドモ、四分ノ一デハゴザイマセヌ、二分ノ一以上減損シタ場合ニ是ガ適用ヲスル、スウ云フ風ニナツテ居ル次第ゴザイマシテ、繰返シテ申上ゲルヤウデアリマスケレドモ、此ノタビノ改正ニ依リマシテ、此ノ規定ヲ削除シタカラ、實際ノ課税ガ非常ニ苛酷ニナルト云フ風ニハ、私共考ヘテ居リ

○渡邊委員 此へ問題ノ更ニ質問フルコト
ヲ留保シテ置キタイト思ヒマス、唯主税局
長ニ御尋シテ置キタイコトハ、遙ニ違フ場
合ハ之ヲ追徵シテ、少イ場合、多少ノ場合
ハ別ニソレハ問ハナイ、ドウモ御言葉ガ徹
底シナイ、兎ニ角廻及シテ餘計利益ノアル
モノニハ取ルト云フ法ノ建前ニナツテ居ル
限リニ於テハ、其ノ年ノ利益ガナイ時ニ
ハ、減損更訂ニ依ツテ其ノ納稅者ヲ保護ス
ルコトガ適當デアルト信ジマス、此ノ點ニ
付テハ後ニ譲リマス

○兒玉國務大臣 教育費ハ一般歳入ノ中力
ラ國庫ガ直接ニ賄フノデアリマス、還付稅
デハナインデアリマス

○渡邊委員 教育費ハ配付稅デ賄フノデス
付稅ノ方デアリマス、還付稅ノ方ハ一應特
別會計ニ入レマシテ、之ヲ府縣ニ還付スル
ト云フヤウナコトニナリマスノデ、是ハ關係
ハナインデアリマス

ノ月數ノ現有シテ居ル所ノ時期
ノモノガ徵稅スル時ニ變化ノアル場合ハド
ウナツテ行クカ、此ノ點ヲ承ツテ置キタイ
○挾間政府委員 市町村民稅ノ額ヲ決定致
シマスノハ、市町村民稅賦課期日ヲ、全國
一律ニ十月一日ト致シテ居リマスカラ、其
ノ日ヲ基準トシテ各市町村ニ於ケル稅額ヲ
定メルノデアリマス、隨テ納稅義務者ノ移
動ニ依リマシテ、地方デ賦課徵收上錯綜ス
ルコトヲ避ケマシテ、十月一日ヲ押ヘテ居
リマスノデ、其ノ期日ニ於ケル納稅義務者
ヲ對象トシテ、各市町村ガ徵稅スルト云フ

大臣ニ御伺致シマスガ、教育費ニ付テ六都市ハ、別段ノ考慮ヲスルト云フ御意思ガアルカ、此ノ地方稅ニ付テドンナ御考慮ヲナサツタカ、其ノ點ノ御答辯ヲ願ヒマス○兒玉國務大臣 六大都市ニ付キマシテ教育費ニ付テハ、別ニ特別ノ考慮ヲスルト云フコトニハ考ヘテ居リマセヌ○渡邊委員 ソレデハ教育費ニ付テ國家ガ負擔致シマスルノハ、大都市モ中都市モ同じコトデアルノデゴザイマスカ○兒玉國務大臣 教育費ノ國庫負擔金ハ之ヲ府縣ニヤリマスルノデ、直接ニ都市ニヤルノデハナインデアリマス

○渡邊委員 配付税ハ特別會計ガアルカナ
イカ、アルトスルナレバソレヲドウ云フ方
法ニシテ、ソコカラ賄ツテ行クノデアルカ
○兒玉國務大臣 今ノハ事務的ノ問題ニナ
リマスカラ、政府委員カラ御答申上ダルコ
トニ致シマス

○挾間政府委員 一寸御説明申上ゲマスガ、
教育費ノ中デ御話ノ點ハ教員給ノコトト思
ヒマスガ、教員給ハ今度道府縣費ノ負擔ニ
移シマスケレドモ、是ハ配付税、還付税トハ
關係アリマセヌ、配付税、還付税ハ即チ地
方團體ノ一般ノ歳入ノ問題デアリ、教員給
ニ對スル支出ハ道府縣ノ一般歳出ノ問題デ
アリマスカラ、ドノ税ガ教員給ニ行クカト

○渡邊委員 例へば十月一日ニ三千人市
町村民稅ヲ納メル人ガ居ル、ソレガ稅金ヲ
取ル時ニ二百人減ツタ、其ノ總額ハ一万二
千圓デアル、ソレヲ二千八百人ニ割リマス
ト、四圓ヲ越スコトニナリマスガ、ソレデ
差支ナイノデアリマスカ、其ノ點ヲ承ツテ
置キタイト思ヒマス

○挾間政府委員 十月一日ノ現在ヲ押ヘテ
取リマスカラ、十月一日ニ或村ニ於テ納稅
義務者ガ千人アルト致シマスト、四千圓ガ
其ノ村ニ於ケル最高額ト云フコトニナル譯
デアリマス

○内藤委員 一言關聯シテ御伺致シマス、

云フコトハ、全然關係ガナイ問題デアリマ

謂物兎ノ三兎ノ四分ノ一ヲ國庫ガ寺ツテ母

云フコトハ、全然觸系ガナシ問題デアリマ

謂物兎ノ三兎ノ四分ノ一ヲ國庫ガ寺ツテ母

云フコトハ、全然觸系ガナシ問題デアリマ

今ノ人口ト云フコトハ、國勢調査ノヤウナコトヲヤルノデスカ、唯十月一日ト云フコトデキチント押ヘテ居ラレマスガ、毎年ヤルノデアリマスカ

○挾間政府委員 國勢調査ノヤウナコトハ致シマセヌガ、賦課期日ノ現在ヲ押ヘマシテ、各市町村ガ其ノ市町村ニ於ケル納稅義務者ハ何人アルカト云フコトヲ調べテ、其ノ額ヲ決定スル譯デアリマス

○内藤委員 各市町村ニ於テ調ベル譯デアリマス

○内藤委員 其ノ方法ヲ聞キタイ、空想的ナゴトハ何デモ言ヘル、ソレデハイカス、デ決メルノデアリマスカ

○挾間政府委員 是ハ獨リ市町村民稅ニ限ドウシテ調ベルカ、ソンナコトヲ仰シヤツタノデハ答辯ニナリマセヌ、如何ナル方法

○挾間政府委員 各市町村ニ於テ調ベル譯デアリマス
○内藤委員 其ノ方法ヲ聞キタイ、空想的ナゴトハ何デモ言ヘル、ソレデハイカス、デ決メルノデアリマスカ

モサウデス、何月何日十二時限リデ、汽車ニ乗ツテ居ル者ハドウスルトカキチツト決ツテ居ル、アナタノ仰シヤル十月一日ヲ押ヘルト云フノハ、十月一日ノ午前零時ヲ押ヘルノカ、或ハ押ヘル方法トシテハ届出ヲウズノカ、ソコマデ仰シヤラナケレバ説明ガ十分デアリマセヌ

○挾間政府委員 其ノ點ハ各市町村ノ自由ニ委セマスカラ、十月一日現在ヲ押ヘテ調ベルノデ、或ハ國勢調査ト云フヤウナ御話モアリマシタガ、實際課稅シマス時ニハ、何人ノ納稅義務者ガアルト云フコトヲ、各市町村ニ何人ノ納稅義務者ガアルカト云フコトヲ調ベタ上デ、稅總額ト云フモノヲ各市町村ガ決定スル譯デアリマス、其ノ調査ハ法ノ規定ヲ必要トシナイ、各市町村ニ於テ市町村條例ニ於テ調ベル譯デアリト思ツテ居リマス

○渡邊委員 十月一日ノ時間等ハ假ニ宜イト致シマシテ、ソレカラ住民稅ヲ課ケル人ニ移動ガ生ジテ來ル、移動ガ生ジテ來マスト、只今ノ十人ノ例ヲ仰シヤツタケレドモ、ソコデ極端ニ九百人ニナツタストルト、四千圓ノ課稅ヲスルニハ九百人デハ負擔が過重ニナル、サウナツテ來ル場合ニ、過去ノ戸敷割ノヤウニ課稅ヲ受ケタ者カラ異議ノ上デ、稅總額ヲ決定スル譯デアリマス

○内藤委員 動的ノモノハ分リマセヌ、静的ナ家ノヤウニ動カナイモノハ分ルガ、動クモノハドウシテ調ベルカ、何月何日十二時現在デ届出ヲサストカ何トカ、方法ガナケレバナラス、今マデノ國勢調査デモ何デモサウデス、何月何日十二時限リデ、汽車ニ乗ツテ居ル者ハドウスルトカキチツト決ツテ居ル、アナタノ仰シヤル十月一日ヲ押ヘルト云フノハ、十月一日ノ午前零時ヲ以テ始マリヘルノカ、或ハ押ヘル方法トシテハ届出ヲウズノカ、ソコマデ仰シヤラナケレバ説明ガ十分デアリマセヌ

○挾間政府委員 先程申上ゲマシタ通り此ノ市町村民稅ハ、徵稅ヲ簡易ニスルコトガ必要デアルト思ヒマス、隨テ法律ヲ以テ賦課期日ヲ十月一日ト定メテ居リマス、ソコデ全國的ニ見マシテ、十月一日現在ニ於テ云フコトヲ調ベテ、其ノ市町村ニ於テ課稅シ得ル總額ガ、其ノ日デ決マル譯デアリマスカラ、假ニ其ノ後ニ於テ其ノ町村ニ於ケル納稅義務者ガ増加致シマシテモ、其ノ增加部分ニ對シテ、市町村民稅ヲ更ニ課スルト云フコトハナイ譯デアリマス、但シ其ノ人方前ニ居リマシタ町村ニ於テハ、十月一日現在ニ於テ居リマスカラ、前ノ居住地町村ニ於テ、其ノ人ヨリ市町村民稅ヲ取ルコトニナル譯デアリマシテ、十月一日ヲ押ヘテ居リマスカラ、税額ニ變動ハ起ラナイ譯デアリマス、尙ホ先程ノ御質問デ、法律ト各市町村ノ賦課徵收トノ關係ニ付テ、モウ少シ附加ヘテ申上ゲテ置イタ方ガ適當カト存ジマスガ、法律ニハ唯根本ノ規定ヲ掲ガテ居ルダケデアリマシテ、例ヘバ賦課期日ガ十月一日デアリマストカ、或ハ納稅義務者ハ是レノ範圍デアル、市町村民稅ノ納稅義務者一人當リノ最高平均額ト云フモノヲ規定致シテ居リマシテ、其ノ他ニ付テハ總テ各市町村ガ市町村條例ヲ以テ定メ、其ノ條例ニ從ツテ賦課徵收スルト云フコトニナル譯デアリマスカラ、左様御承知ヲ願ヒタイ

○内藤委員 ソレデハ伺ヒマスガ、今アナハ法律ノコトヲ仰シヤイマスガ、十月一日ハ何時ヲ基準ト致シマスカ、十月一日ノ書ヲ基準ニ致シマスカ、何時ニシマスカ、其ノ通リニ御考ニナリマスカ、夜ノ十二時マス、私ハ其ノヤウニ考ヘマスガ、アナタハマスカラ、是ハ民法ノ規定ニアリマスカラ、ハツキリシテ戴キタイ

○挾間政府委員 時間ヲ御尋デゴザイマスガ、ソレハ午前零時ト云フ風ニ致シテモ宜シト思ヒマス、是ハ御存ジノヤウニ納稅義務者ガ一戸ヲ構ヘテ居リマストカ、或ハ事務所ヲ有スルトカ、或ハ營業所ヲ有スルトカ云フ問題ガゴザイマスノデ、午前零時ヲ押ヘナケレバナラス、十二時ヲ押ヘナケレバナラスト云フコトハ、餘り難カシイ問題デハナイト思ヒマスガ、通常國勢調査ト同様ニ午前零時ヲ押ヘルト云フ風ニ確定致シマシテ、一定ノ時期ニ於ケル現住ノ納稅義務者總數ヲ調ベルト云フ風ニスルノガ、適當デアラウト存ジマス

○渡邊委員 ソコデ私ハ例ヲ取ツテ申シマスガ、甲ト乙トノ町村ガアル、其ノ甲ノ町村ト乙町村ト同ジ資力ノアル者ガアル、ソレヲ「エー」ト「ビー」ト假定スル、所ガ甲ノスガ、甲ト乙トノ町村ガアル、其ノ甲ノ町村デハ其ノ同ジ「エー」ト云フ人ニ百圓ヲ課稅スル、乙ノ方デハ三百圓ヲ課稅スル、是ハ資力トカ總テノ條件ガ揃ツテ居ルガ、斯様な場合ハ當然生ズルト思ヒマス、其ノ甲ノ村モ乙ノ村モ、村ノ自治ノ經濟上同ジ差支ナイカ、又村民ノ方デハ之ニ異議ヲ申立ヲ致シマスト、大抵市町村ガ負ケマシタ、此ノ市町村民稅ハ其ノ點ニ於テ心配ガアルカラ、ハツキリ聽イテ置キタイノデス、サウ云フ場合ニハ十月一日ノ人口カラ減ツタコトハ差支ナイノカ、今一つハ殖エル時ニハ、千人ガ十人殖エタストレバ四十圓追加シテモ宜イノカ、ソレハドウ云フ時ヲ限

ノデアルカ、ドウ云フコトニナルカト云フ

コトヲ承リタイ

○挾間政府委員 還付税ハ國稅トシテ徵收

致シマシタモノヲ、其ノ儘府縣ニ還元交付

スルノデアリマシテ、附加税ハ其ノ國稅タ

ル三稅ニ對シテ、地方ガ附加税ヲ取ルノデ

アリマスカラ、別ニ關係ハゴザイマセヌ、

還付税ハ其ノ儘府縣ニ還付サレルモノデア

リ、ソレカラ配付税ハ財政調整ノ目的ヲ以

テ分與スルノデアリマス、一ツハ課稅力ニ

依ル半額ヲ分與シ、他ノ半額ハ其ノ團體ノ

財政需要ト云フモノヲ標準トシテ分與スル

ノデアリマシテ、ソレハ特ニ如何ナル施設

ヲスルカラ、ソレニ對シテ分與稅ガ多ク行

ク、少ク行クト云フ問題デハナインデアリ

マスカラ、只今御述ニナリマシタヤウナ團

體ガ、或ル施設ヲスルシナイト云フコトハ、

此ノ分與稅ノ分與ノ基準ニハ關係ヲ持タナ

イノデアリマス

○渡邊委員 相當有力ナ町村デ町債ヲ持ツ
テ居ル所ガアル、斯ウ云フヤウナ所ニハ、
其ノ何處ヲ標準トシテ其ノ配付税ヲ交付ス
ルノデアルカ、例ヘバ基本金ノ少イ所ニ多
クヤルトカ何カノ目標、標準ヲ御答辯願ヒ
タイト思ヒマス

○渡邊委員 先程申上ゲマシタ通り、

配付税ハ各團體ノ課稅力ト、其ノ團體ノ財

政需要トヲ分與ノ標準ト致シマス、隨テ只

今御述ニナリマシタヤウナ、市町村ニ於ケ

ル起債額ノ多少、或ハ稅外收入ノ多寡ト云

スルノヲ適當ト認メタ次第アリマス、併

シ永年ノ間源泉デ比例稅率デ課稅シテ居リ

マスルノヲ、一舉ニ他ノ所得ト同様ノ課稅

ヲ致シマスルト、其ノ過渡期ニ於キマシテ、

○渡邊委員 財政需要ト云フ點ヲ、モツト

詳細ニ御説明願ヒマス

○挾間政府委員 分與稅法ニ規定ヲ致シテ

居リマスノ一寸申上ゲマスト、分與稅法

第十六條、第二十四條、第三十條、第三十七

條、是ガ各團體ノ財政需要ヲ測定スル標準

デアリマシテ、具體的ニ申上ゲマスト、各

府縣市町村ノ割増人口ヲ以テ、財政需要ヲ

測定スルコトニ致シテ居リマス

○渡邊委員 内務大臣ハ商工大臣ニ對スル

結構デアリマス

○堀切委員長 内務大臣ニ御聽キニナルダ

ケヲ一ツヤツテ戴キタイノデス、商工大臣

ガイラツシヤレバ又ソチラニ御質問ト云フ

コトニシテ……ソレカラ一通リ全體ノ皆サ

ンノ御質問ガ濟シダラ、後ハヤハリ各稅目

ニ付テ一ツヅツヤツテ行カナケレバナラヌ

ト思ヒマスカラ、餘リ各稅ノ細カイコトハ

其ノ時ニ讓ツカラ宜シカラウト思ヒマス

○渡邊委員 大藏省當局ニ御尋致シマス

ガ、公債、銀行預金ノ利子綜合課稅ハ、公

債消化ノ支障トナルベキヤウナコトガ生ジ

テ來ルノデハナイカ、其ノ點ニ付テ主稅局

長ノ御答辯ヲ煩ハシタイノデアリマス

○大矢政府委員 公債利子ハ御承知ノ通

根抵當ニ依ツテ銀行カラ借りリテ、當座ニ預

金モ入ルノデアリマスルガ、御承知ノ通り

當座預金ハ非常ニ低利率デゴザイマシテ、

日常ノ商取引ノ關係上、多少殘高ヲ殘シテ置

クト云フヤウナモノガ多ク、一面ニ於テ又

ケテ置クト云フヤウナ關係モアリマスノデ、

其ノ點ヲ考慮致シマシテ、小切手ヲ以テ引

出シ得ルモノデアツテ、大體日歩三厘程度

以下ノモノニ付キマシテハ、一切課稅ヲシ

ナイ、斯ウ云フコトニ致シテ居リマス、ソ

レカラ貯蓄預金ニ付キマシテハ、元本ガ三

千圓ヲ超ユル場合ニハ課稅ヲ致シマスル

ガ、課稅ノ程度モ他ノ普通ノ銀行預金ト違

ヒマシテ、其ノ半額程度ニ止メヨウ、斯ウ

存ジテ居リマス

○渡邊委員 総合課稅ノ場合ニハヤハリ百

分ノ十五ノ稅ヲ再び負擔スレバ総合セラレ

マセヌカ

○渡邊委員 左様デゴザイマス

合ニ、織物營業ノ所得ヲ計算スル場合ニハ、

スト云フ虞モ豫想セラレマスノデ、綜合ニ

當リマシテハ、是ノ四割ヲ控除シタ殘リニ

課稅シヨウ、斯ウシテ居ルノデアリマス、

尙ほ事變下ノ金融界ノ微妙ナル點モ考慮致

シマシテ、暫定措置トシテ、納稅者ノ選擇

ニ依ツテ綜合ニ代ヘルニ、源泉デ課稅スル

途ヲモ開イタノデアリマシテ、斯ウ云フ考

慮ヲ致シタ結果ト致シマシテ、國債ノ消化

ニハ支障ガナイト確信シテ居ル次第ゴザ

イマス

○渡邊委員 銀行預金ト云フノハ、當座預

金等モ指スノデアルカ、又貯蓄預金、定期

預金ダケニ課稅スルノデアルカ、ソレヲ承

ツテ置キタイ

○大矢政府委員 銀行預金ノ中ニハ當座預

金モ指スノデアルカ、又貯蓄預金、定期

預金ダケニ課稅スルノデアルカ、ソレヲ承

第デアリマス

○渡邊委員 例ヘバ株式ヲ擔保トシテ金ヲ

借リタクト云フ事實ガアレバ、其ノ利息ヲ差

引クト云フコトニ解釋シテ宜イノデアリマ

スカ、其ノ株ヲ買フ時ニ金ガ借リテアルト

云フコトヲ基礎ニスルノカ、此ノ邊ヲハツ

キリ承リタイト思ヒマス

○大矢政府委員 是ハ實際問題ダト思フノ

引クト云フコトニ解釋シテ宜イノデアリマ

スカ、其ノ株ヲ買フ時ニ金ガ借リテアルト

云フコトヲ基礎ニスルノカ、此ノ邊ヲハツ

キリ承リタイト思ヒマス

○大矢政府委員 デアリマス、ソレデ大抵銀行等ノ金融機關

カラ借入レル場合ガ多イグラウト思ヒマス

ガ、其ノ銀行等カラ借入レタ時期、ソレカ

ラ其ノ金額、サウシテ一方株式ヲ取得シタ

時期、金額等々ヲ睨合セテ見ルト、大體ノ

判定ハ付クモノト存ジテ居リマス、一方株式

ヲ擔保ニシテ借金シテ居ル者ハ、當該株式取

得ノ爲ニ要シタ借金ダトシテ、直チニ引ク

カト申シマスト、必ズシモ其ノ様ニハ參ラ

ヌカト存ジマス、例ヘバ渡邊サンノ御承知

ノヤウニ、織物業者等ニ於キマシテ、營業

ノ爲ニ必要ナル借金ヲスル場合ニ、自分ノ

持ツテ居ル株式ヲ擔保ニシテ銀行等カラ借

金ヲシテ、織物業ニ投ジタルト云フヤウナ場

是ハ必要ノ經費トシテ、其ノ利息ハ見ルノ
デアリマスルガ、株式ヲ擔保トシテ居ルカ
ラト言ツテ、直チニ其ノ株式ヲ取得スルニ
要シタ必要ナ借金トシテ引ク譯ニハ行カヌ、
株式ノ方カラモ引キマスレバ、同一ノ借金
ノ利子ヲ二重ニ經費トシテ勘定スル、斯ウ
云フ結果ニナリマスルカラ、サウ云フ風ニ
明ナ場合ニハ引ク譯ニハ行カナイ、ソレハ
個々ノ場合ニ、實際ニ就イテ見テ行クベキ
問題ダト存ジマス、一方ニ於テ例ヘバ住宅
ヲ擔保ニシテ借入レテ居ル借金デアリマシ
テモ、其ノ借金ハ明ニ株式ヲ取得スル爲ニ
要シタ借金ダト云フコトガ認定ノ出來ルヤ
ウナ場合、例ヘバ借入ノ時期、金額、ソレ
カラ株式ヲ取得シタ時期、金額等ニ依リマ
シテ、認定ノ付ク場合ニハ、邸宅ヲ擔保ニ
シタ借金ノ利息モ、株式ヲ擔保ニ、株式取
得ニ要シタ借入金ノ利息モ差引カレルト云
フ譯デアリマス

○渡邊委員 残念ナガラ御答辯デハ私共諒

解が出来マセヌガ、借金ヲスルノニ、ドウ

云フ時ニ借りタノカト云フ、其ノ原因ニ依

ツテ引クモノデアルカ、例ヘバ不動産デ金

ヲ借リタイ、斯ウ云フ時ニ不動産デ金ヲ借

リル、詰リ其ノ人が證券ヲ持ツテ居ツタカ

ラ、株券ヲ擔保ニシテ借りタ、斯ウ云フヤ

ウナ場合ニモ、ヤハリ引クノデアルカ、引

カヌノデアルカ、事實ハ不動産ヲ買フ爲ニ

株式デ借金ヲシタノデアル、若シ之ヲ引カ

レバ不公平デアルシ、引クナレバ其ノ借

金ト云フモノニ付テ、種々複雜デ其ノ性質

ハ借リタ本人ガ分ラヌヤウナ場合モアリ得

ルカラ、課税スル方ノ側デハ分ラスト思フ

ノデアリマス、モウ少シハツキリ御答辯ヲ

願ヒマス

業ノ爲ニ要シタ借金ノ利息ハ引イテ居ルノ
ニシタ借金モアリマセウ、土地ヲ擔保ニシ
タ借金モアルデアリマセウ、又信用デ借リ
タ借金モアルデアリマセウガ、其ノ如何ナ
ル形式ニ依ルトヲ問ハズ、其ノ資金ノ用途
ガ營業ノ方ニ投ゼラレテ居ルト云フ場合ニ
ハ、其ノ借入金ノ利息ハ、營業ニ必要ナ經
費トシテ見テ居ルノデゴザイマシテ、此ノ
點ハ株式ノ場合ニ於テモ何等異ナル所ハナ
イノデゴザイマス、ソレカラ其ノ借金ヲ何
ニ使フカト云フコトハ、是ハ本人ガ能ク分
ツテ居ルコトカト存ジマス

○渡邊委員 ドウモ此ノ問題ハ御答辯デハ

ハツキリ致シマセス、恐ラク分ルベキモノ

デハナイ、本人デモ分ラナイ、或ハ株ヲ買

フ時ニ借金ヲシタ、併シナガラ其ノ他ノ資

金モアリマスカラ、ソレガ營業資金ノ借金

ハツキリ致シマセス、恐ラク分ルベキモノ

スト八百五十五圓七十五錢残ル、然ルニ九
千五百圓ヲ利益シタ人ハ一万圓マデハ利得
税ヲ課ケナイノデアリマスカラ、ソコデ八
%半ノ所得税ヲ出セ宜ノデアル、其ノ八
ケルヨリハ、九千五百圓儲ケタ方ガ税ヲ差
カラ、差引八百六十九圓何ガシ残ルト思ヒマ
ス、私ノ計算デ行キマスト一万五百圓ヲ儲
引キマスト、實收入ガ多イト云フコトニナ
ル、サウシマスト、此ノ税制委員會ノ初メ
ニ、サウ云フ所ガアリハシナイカト云フコ
トヲドナタカカラ御質問ノアツタ時ニ、ナ
イト御答ニナツタノデアルケレドモ、斯ウ
云フヤウナ不均衡ナ所ガアルノデハナイカ
ト思ヒマスガ、私ノ言ヒマス所ニ違ツテ居
ル所ガアレバ是正ヲ願ヒマス。

○大矢政府委員 今伺ツタ數字ハ後デ詳細
検討シテ見ナケレバ、其ノ通りデアルカド
ウカハ一寸今直げ御答ハ出來ナイノデアリ
マスケレドモ、大體ト致シマシテ、臨時利
得税マデモ加ヘテ、サウシテ所得税ノ負擔
ト兩方見比ベテ見ルト、時ニ依ツテハ仰セ
ノヤウナ場合が出来ルカト思ヒマス、是
ハ別ニ九千五百圓ト一万五百圓ノ所得者ニ
限ラナイ、同ジク一万圓ノ所得者デアリマシ
テモ、其ノ營業者ガ基準年度ニ於テ一万圓ノ
利益ヲ舉ガテ居ル場合ニ於テハ、臨時利得税
ハ毫モ課ラヌノデアリマス——一万圓ト言ツ
テハ語弊ガアリマス、臨時利得税ハ一万圓以上
ノ者ニ對シテノミ課リマスカラ、十万圓ト致
シマスト、十万圓ノ純益ノアル者ハ基準年
度ニ於テ十万圓ノ利益ヲ舉ガテ居レバ、臨
時利得税ハ毫モ課リマセヌ、然ルニ同ジク
十万圓ノ營業ノ純益アル者ガ新シク營業ヲ
始メタトスレバ、相當ノ臨時利得税ガ課カル、

斯ウ云フコトデゴザイマシテ、臨時利得税ハ、事變下ニ利益ノ増大シタ者ハ特別ノ負擔力ガアルト云ツテ特別ノ課稅ヲスルモノデナクテ、普通ノ所得稅課稅ノ標準、負擔力ノ程度ヲ見ル基準ガ違フノデアリマスカラ、隨ヒマシテ臨時利得稅マデモ持ツテ來テ、而モ基準年度ノ利益ノ違ツテ居ルモノマデモ持ツテ來テ比較致シマスト、仰セノヤウナ場合ガ起ツテ來ルト思フノデアリマス、是ガ基準年度ニ於キマシテモ、兩者同ジヤマシテモ同ジヤウナ利益ヲ上ゲテ居ルト云フヤウナ場合ニハ、臨時利得稅、所得稅ヲ通算シテ、大體同ジヤウナ負擔ニナルノデアリマスケレドモ、兩者ソレハ違フヤウナ場合ニハ、ドウシテモ不一致ヲ來ス、ソレガ爲ニ臨時利得稅ガナケレバナラヌ譯デアリマス、臨時利得稅ト所得稅同ジヤウニ働イテ行クナラバ、別ニ所得稅ト臨時利得稅別々ノ稅法ヲ設ケル必要ガナイ、稅法ヲ設ケタ趣旨ハソコニアル、斯ウ考ヘマス

○大矢政府委員　ドウモ御話ヲ伺ツテ居リ
マスト、結局課税ノ年ニ於テ利益ガ一万圓
ニ達シナイ場合ニハ、臨時利得税ヲ課税シ
ナイ、一万圓以上ノ場合ニ臨時利得税ヲ課
税スル、斯ウ云フ法制ニ致シテ居リマスル、
ソコニ斯ウ云フ不都合ガ起ルノデハナイカ
ト云フ御尋ノヤウニモ聞エマス、詳シイ數
字ノ計算ハ、何レ後デ速記録ヲ拜見致シマ
シテ、能ク検討シテ見マスケレドモ、私ハ
大體ニ於テ不均衡ガナイ、斯ウ考ヘテ居リ
マス、ソレカラ本委員會ノ開會勞隣ニ於キ
マシテ、立川委員カラ御請求ニナリマシタ
資料ノ内、法人個人ヲ通ジテ此ノ度ハ課税
ノ最高限度ヲ制限スル規定ヲ撤廢シタ結果、
所得金額ヨリモ税ノ負擔ガ多クナル場合ガ
アルヤウダカラシテ、其ノ場合ノ計算ノ實
例ヲ出しシテ吳レ、斯ウ云フ御話デゴザイマ
シテ、私ハ今度ノ改正ニ於キマシテハ、サ
ウ云フコトハナイヤウナ仕組ニナツテ居リ
マスカラ、其ノ資料ハ提出致シ兼ネルト云
フコトヲ申上げテ置イタ次第ゴザイマス、若
今渡邊サンノ御尋ノトハ少シ違フ點ガアル
カト存ジテ居リマス

○渡邊委員　兎モ角其ノ繼ギ目ニ同ジヤウ
ナ状態ノモノガ、餘計利益ヲ擧ゲテ、而モ
稅ヲ差引クト少クナルト云フコトハ、負擔
ノ均衡トハ言ヘナイ、此ノ問題ニ付テハ能
ク御調査ヲ願ツテ置キタイト思ヒマス、若
シ私ノ言フヤウナ状勢デモ、アナタハ此ノ
際已ムヲ得ズトセラレテ居ルノカドウカ
其ノ次ニ織物消費稅ニ付テ二三承リタ

ト思ひマス、織物消費税ノ税率ノ改正ハ、僅ニ百分ノ一ヲ引上ガタ、斯ウ言ハレテ居リマスケレドモ、其ノ僅ニガ間違ツテ居ノデアリマシテ、今マデ大衆向デアリマス所ノ非課稅品ニ付テモ課稅品ニシタ、斯ウ云フ點ニ付テ如何ナル根據ヲ以テシタカ、其ノ點ノ御説明ヲ願ヒマス

○大矢政府委員 此ノ度税率ノ引上ガ、百分ノ九ヲ百分ノ十ニシタノハ、仰セノ通りデアリマス、ソレカラ非課稅品ヲ或る程度課稅、圈内ニ取入レテ居リマスルガ、是ハ寧ロモトカ麻トカ云フモノヲ原料ノ一部ニ供スルモノデアリマスノデ、大體ニ於テ一般大衆向トマデハ言ハレナイモノカト存ジマス、倫敦軍縮會議ノ結果、我國ノ財政ニ多少餘裕ヲ生ジタト云フノデ、昭和六年ニ或る程度織物消費稅ヲ輕減シタノデアリマシテ、其ノ場合ニ税率ヲ百分ノ十ヲ百分ノ九ニ致シマシタ、ソレカラ免稅範圍モ多少擴メタノデアリマスガ、今回ノハ大體其ノ倫敦軍縮會議前ノ状態ニ復歸シタト云フノデゴザイマシテ、ソレ以上ニ綿織物トカ、或ハ「ステープル・ファイバー」ト云フヤウナモノヲ主體ニスル一般大衆向キノ織物ニ對シテハ、依然トシテ免稅シテ居ルト云フヤウナ次第デアリマシテ、其ノ點ハ十分考慮シタ積リデゴザイマス

○渡邊委員 前ニ申シマシタ負擔ノ均衡ノ問題ニ付テノ御答辯ヲ促シマス

○大矢政府委員 臨時利得稅ニ付キマシテ、其ノ年ノ利益ガ一万圓以上ナケレバ課稅シリマスル關係上、其ノ境目ノ九千五百圓ト一万五百圓トノ間に於テハ、サウ云フ點ガ

○渡邊委員 織物消費稅ガ軍縮會議以前ニ
戻ツタト言ハレルノデアリマスガ、ソレハ
其ノ後ノ事情カラ言ヒマズレバ、大衆向キ
モノニ對シテ十分ナル理由ガアツテ免稅
サレタノデアルカ、即チ堅綿絲ニ緯ニ紡毛絲、
又ハ堅綿ノ緯麻ノ織物トカ、「ス・フ」ヲ堅ニ
シテ緯ニ紡毛又ハ麻絲トカ云フ風ナモノガ
免稅デアリマシタモノヲ、現在ハサウ云フ
モノガ大衆向キノ、所謂勞働者向キノ需要
デナイト云フコトニ急變シタノデアルカ、
其ノ點ヲ承リマス

○大矢政府委員 倫敦軍縮會議前ニ復歸シ
タト云フガ、折角一般大衆ノ使用スルモノ
ニ對シテ免稅シタノヲ、再び課稅スルノハ
ドウカト云フ御尋、一應御尤モト存ジマス、
併シナガラ御承知ノ通り倫敦軍縮會議ノ結
果、財源ニ餘裕ヲ生ジタ場合ニ於キマシテ、
織物消費稅ノミデハゴザイマセヌ、砂糖消
費稅ニ於キマシテモ同様ノ輕減ヲ致シタノ
デアリマスガ、其ノ後此ノ事變發生以來、
砂糖消費稅ハ度々増徵セラレテ居ルノデア
リマスケレドモ、織物ニ付キマシテハ渡邊
サンノ仰セニナルヤウナ點モアリマスノデ、
成ベク增稅ハ避ケヨウト云フ趣旨デ、今マ
度増稅シテ居ナカツタノデアリマス、此ノ
度相當廣イ範圍ニ瓦リマシテ增徵ヲ致ス際

ニ織物ノ課稅ヲ復歸セシメルコトモ、時節柄已ムヲ得ナイノデハナカラウカト、斯ウ一般大衆ト申シマスヨリハ、ドチラカト申シマスルト多少負擔力ノアル方面ノ使用スルモノガ多イノデハナカラウカ、純粹ノ「ステープル・ファイバー」ノ如キモノニ對シテ課稅スルモノトハ餘程趣キガ違フノデハナカラウカト思ヒマス、先程申上ゲマシタ通りトカ麻トカ、多ク輸入ニ仰グヤウナモノヲ原料ニシテ居ル點モゴザイマスノデ、此ノ程度ノ課稅ハ御幸抱願ツテ然ルベキデハナカラウカト考ヘル次第デゴザイマス○渡邊委員 編ノ中五%絹ヲ含ンデ居リマシテモ綿織物ト見做ス、是ハ重量割合デ書イテアリマスガ、ソレハ百匁ノ綿ノ織物ニ五匁絹ガ入ツテ居ツテモ宜イト云フコトデアリマスカ○大矢政府委員 百匁ノ中九十五匁以上綿ガ入ツテ居レバ課稅シナイ、斯ウ云フ譯デアリマス○渡邊委員 ソレハ違ツテ居リハシマセヌカ、私ノ尋ネテ居ルノハ綿ガ九十五匁、絹ガ五匁ダ、斯ウ云フ場合ヲ極限シテ聽イテ居ルノデアリマス、大藏省ノ方ノ御扱ニハ色々ナ問題ガアリマス、例ヘバ斯ウ云フモノハ毛ト見做ス、斯ウ云フモノハ絹ト見做スト云フ文句ガアリマスガ、サウ云フ見做スト云フコトデナシニ、今申上ゲル通リ絹ノ目方ガ五匁以下ナラバ非課稅品ダト承知シテ差支ナイノデアリマス○大矢政府委員 前ニ申上ゲタ通リデゴザ

○渡邊委員 言葉デスカラ、サウ云フヤウナ御取扱ト承
知シテ置キマス、ソコデ更生絲ノ中ニ少シ
デモ毛トカ絹ガ入ツテ居リマスト、其ノ
課税品トナツテ居ルヤウニ承知シテ居リマ
スガ、今マデヤラレタ措置ガ間違ツテ居ツ
タノカドウカ

○田中政府委員 更生絲ノ御話デゴザイマ
スガ、絹絲ノ屑デ出来タモノハ全部ガ絹デ
ゴザイマスカラ、ソレハ課税品ト見テ課税
ヲ致スコトニナツテ居リマス、御話ノ更生
絲ノ場合ハ絹ガ僅ニ交ツテ居ル、大部分九
五%以上ガ綿デアルト云フモノハ、是ハ全
部ヲ絹トハ見テ居リマセヌ

○渡邊委員 織物消費税ノ税率ハ百分ノ十
ト云フコトハ分ツテ居リマスガ、如何ナル
場合ヲ基準ニスルカ、所謂製造家ヲ離レル時
デアルカ、製造家ヲ離レルニシテモ色々段階
ガアリマス、或ハ整理ヲシテカラデアルカ、
シテナイ時デアルカ、イツノ時ノ價格ヲ標
準トスルカ

○大矢政府委員 是ハ引取課税デアリマシ
テ、引取ノ時ノ價格ニ依ルノデアリマス、
此ノ點ハ此ノ度モ別ニ改正ハ加ヘテ居リマ
セヌ、從來通リデゴザイマス

○堀切委員長 渡邊君ニ申上ゲマスガ、午
前中カラ御要求ノ物價局次長方今見エマシ
タカラ……

○渡邊委員 幸ニ物價局次長ガ見エマシタ
カラ織物ニ關シテ物價局ノ意見ヲ求メマス
ガ、總テ公定價格或ハ適正價格ヲ御決定ニ
ナツテ居ルガ、今マデ非課税品デアツタモ
ノガ課税品ニナリマスト、當然其ノ物價ニ
差異ヲ生ジテ來ル譯デアリマス、其ノ取扱

八物價局次長ハドウナサイマスカ、其ノ點ノ詳シイコトヲ御聽致シタイト思ヒマス
○新倉政府委員 織物ノ公定價格デゴザイマスガ、此ノ公定價格ハ可ナリ種類ガ多ウゴザイマシテ、價格外ノ品物ト云フ問題モ色起ルノデアリマスガ、サウ云フ點ニ付テハ生産上ニ於テサウ云フ規格ノモノヲ作ラセル、斯ウ云フ方針ヲ以テヤツテ居リマス、尙ホ現在品物ニ依リマシテ、殊ニ絹織物等ニ付キマシテ公定價格ガマダ十分ナイト云フヤウナモノモゴザイマスノデ、目下急イデ審議ヲ進メテ居リマス、ソコデ非課稅品ニ付キマシテ課稅ヲシタ場合ニドウスルカト云フ問題ニナツテ參リマスガ、是ハ一般的ニハ稅ノ引上ヲ見テヤツテ行クト云フ方針ヲ採ツテ居リマス、併シナガラ織物消費稅等ニ於キマシテハ稅抜キノ價格デ見テ居ルノデゴザイマスカラ、ソレハ又ソレニ應ジタヤリ方ヲスルト云フ考デアリマス
○渡邊委員 新倉次長ノ御言葉デ見マスレバ、織物ノ公定價格ハ稅抜キデ決定サレテ居ル、左様ナ御答辯ト思ヒマスガ、間違ヒアリマセヌカ
付イタラバドウスルカ
○新倉政府委員 私ノ申シマシタノハ稅ノ課稅標準ニナリマス價格ハ、是ハ稅抜キノ價格ヲ以テ標準トシテ居ル、斯ウ云フ意味デゴザイマシテ、最後ノ公定價格ト云フモノハ勿論稅ノ入ツタ價格デゴザイマス
○渡邊委員 稅ノ入ツテ居ラヌ價格ニ稅ガ

定價格ヲドウスルカ、斯ウ云フ御質問ダト

思ヒマスガ、此ノ場合ニハ稅ノ價格ヲ見マ

シテソレト同時ニ公定價格ハ必ズシモ從來

ノ價格其ノモノニ稅ヲ加ヘタモノヲ直チニ

公定價格ニスルト云フヤリ方デハゴザイマ

セヌデ、公定價格ヲ決メル場合ニハ、稅ノ

問題モ考ヘマスシ、又其ノ現狀ノ價格ノ問

題、賃銀ノ問題、投資ノ問題等マデ全部併

セ考ヘテ公定價格ヲ決メルト云フ方針デア

リマス

○渡邊委員 簡單ナ質問デスカラ成ベク答

辯ハハツキリ御願致シマス、何モ彼モ見テ

公定價格ガ決定サレテ居ルノダ、ソコヘ稅

金ガ新ニ付イテ來ル、之ヲドウスルカ、ソ

レニ付テ御答辯ヲ願ヒマス

○新倉政府委員 度々御説明申上ゲマスル

ヤウニ、公定價格デゴザイマシテモ、是ガ

實情ニ合フヤウニ是正スル必要ハアリマス

ノデ、公定價格ノ變更ノ場合ニハ、勿論稅

ノ問題モ見マスシ、又他ノ各般ノ「ファク

ター」モ併セ考ヘル、斯様ニ申シテ居ルノ

デアリマス

○渡邊委員 公定價格ノ確定サレテアルモ

ノデ、稅金ガ新ニ付イタ時ニドウスルカト

云フコトヲ質問シテ居ルノデス、織物消費

稅ナドハ轉嫁稅デアルカラ、當然其ノ上ニ

加算スルカドウカ、ハツキリ御答辯ヲ願ヒ

マス

○新倉政府委員 先程申シマシタヤウニ、

公定價格ヲ改訂スル場合ニハ、稅ノ價格ヲ

考ヘマスト同時ニ、外ノ「ファクター」モ考

ヘル、隨ヒマシテ簡單ニ外ノ「ファクター」

モ全然考慮スル餘地ガナイト云フ場合デゴ

ザイマスレバ、稅ノ價格ダケヲ加ヘテ公定

價格ヲ決メルト云フヤウニ申上ゲテ居ルノ

○内藤委員 關聯事項デ一言申上ゲタイ、
渡邊君ノ今ノ質問ノ趣旨ハ、公定價格ガ決

定アリマス

○内藤委員 關聯事項デ一言申上ゲタイ、
渡邊君ノ今ノ質問ノ趣旨ハ、公定價格ガ決

ヒマス、「サウダ」ト呼フ者アリ)私ハ非課
稅品ガ課稅品ニナレバ、其ノ課稅額ハ當然

加算サレテ宜イノデアルト云フ風ニ思フノ

シテ新倉次長ニ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマ

ニ逃がテシマフ、ソレダカラ分ラスコトニ

ナリ、蒟蒻問答ミタインコトニナツテシマ

ト云フ御尋デアラウト思フ、ソレヲ飄簾餘

リヤ否ヤ、此ノ點ニ付テ御答辯ヲ願ヒ、而

シテ新倉次長ニ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマ

ス

○大矢政府委員 織物消費稅ハ消費稅ノ一

種デアリマス、隨テ消費者ガ負擔スルノガ

稅ノ建前デアリマス

○新倉政府委員 渡邊サンノ御議論ハ、公

定價格ハ一旦決ツタラ動カスペキモノデハ

ナイモノデアルト云フ前提デゴザイマスレ

ツタラ宜イデハナイカ、アナタガ持ツテ廻

ツテ仰シヤルカラ餘計時間ガ掛ツテ困ル

○新倉政府委員 私ノ申上ゲマシタノハ、

今決ツテ居ル公定價格ハ何モ動カス餘地ノ

ナイト云フ前提デ御考ニナツテ居ルヤウデ

アリマシテ、ソレニ稅ガ課カツタ場合ニハ、

其ノ稅ダケ加ヘタモノデヤルト云フヤウニ

御考ニナツテ居リマスガ、公定價格ハ實情

ニ合フヤウニ改訂スルト云フコトヲ方針ト

シテ居リマスカラ、稅ノ問題ト併セ考ヘ、

スルト云フコトヲ申上ゲテ居ルノデアリマ

ス

○森田委員 私ガ今ノ質問ニ關聯シテ御尋

シタイノハ、本案ニ依ルト、此ノ稅法ハ本

年四月一日カラ實施スルト書イテアル、サ

ウスルト四月一日ニ公定價格ノ改訂ガ即日

出來ルモノデハナイ、從來ノ例ヲ見テモ、

又吾々ノ問ヒタインハソコデアル、四月一

日マデノ公定價格ハ四月一日ヨリ斯々改訂

スルノデアルト云フコトヲ三月三十一日マ

ニ出セバ宜シイガ、サウデナケレバ四月

一日カラ實施スル此ノ消費稅ヲ現在ノ公定

價格ニ加ヘテ賣ツテモ善イカ惡イカ、ソコ

ノ所ヲ御尋スルノデアリマス

○新倉政府委員 四月一日マデニ全部ノ公

定價格ヲ改訂スルカシナイカト云フ問題ハ、

實際ニ當ツテ見ナケレバ、全部ヤルトモ申

上げ兼ネマシテ、全然ヤラヌトモ申上ゲ兼

ネマス、併シナガラ私ガ先程來申上ゲマシタ

ノハ、一般論トシテ申上ゲマシタカラ、公

定價格ハ一遍決メタラモウ變ヘナイト云フ

ヤウナ方針デハナイト云フコトヲ申上ゲタ

定價格ハ一遍決メタラモウ變ヘナイト云フ

ノデアリマス、隨テ四月一日マデニ、或ル

モノハ恐ラク公定價格ヲ改訂スルト云フコ

トハ出來ルモノト思ヒマス、隨テ其ノ場合

ニハ今ノヤウナ方針ヲ採リマス、又公定價

格ノ改訂ガ出來ナイト云フ場合ニハ、恐ラ

ク稅ノ部分ハソレニ加ヘテ認メテ行クト云

フコトニナルカト思ヒマス

○内藤委員 モウ一ツソコヲハツキリシテ

戴キタイ、ソレハ闇取引ト同ジデアツテ、

當然分ラヌ者ガ澤山アツテ、誤解ガ澤山生

ズルト思フカラ、三月三十一日マデニ決ツ

タ公定價格ガアツテ、四月一日ニ稅ガ加

ツタト云フモノガアルナラバ、其ノ公定價

格ニ其ノ稅ヲ加ヘテ賣ツテモ差支ナイカド

ウカト云フコトガハツキリセヌト國民ハ

困ル、議員ニ對スル答辯ハ飄簾餘デモ宜イ

ガ、國民ハソレデハ困ル、アナタ方ハ括ラ

レナイカラ宜シイガ、括ラレル者ハ民衆デ

スカラ、ソコノ所ヲモウ一遍ハツキリ御答

テ願ヒタイ

マシテモ、品物ニ依ツテ四月一日カラ直チ

ニ増稅分ヲ消費者ガ負擔シテ行クモノト、サウ行カナイモノトガアルノデゴザイマスカラ、其ノ事情ダケヲ御説明申上げ置キマス、例ヘバ物品稅ノ課稅ヲ受ケルモノニガアリマシテ、小賣課稅ヲ受ケルモノヲ四月一日以降ニ於テ買フ場合ニハ、直チニソレグケ稅ノ課カツタモノヲ買フト云フコトニナリマスカラ、物品稅ノ稅額ダケ値段ヲ上ゲラレテ賣ラレルト云フノハ當リ前ノコトデゴザイマス、隨て支那事變特別稅法施行後ニ於キマシテモ、「デパート」ナドニ於テモ三月三十一日ニ徹夜ラ致シマシテ正札ノ張替ヲシテ、物品稅ノ課カツタダケ高クシテ賣ツテ居ルト云フ狀況デゴザイマス、一方ニ於キマシテ例ヘバ化粧品ノ如キ物トカ、或ハ酒ノ如キ物、是ハ藏出シテモ直チニ小賣トスル譯デモアリマセヌカラ、同ジ「デパート」ニ竝ベラレテ居ル品物デアリマシテモ、小賣課稅ノ方ハ四月一日以降カラ直グト云フヤウナ狀況デゴザイマシテ、其ノ間「デパート」等ニ於キマシテ、實際問題トシテ古イ品物ハ古イ價格デ賣ル、ソレカラ新シク製造場カラ引取ラレル品物ハ、新シク値段ヲ高クシテ賣ルト云フヤウニ、直グニ區分シ兼ネルノデ、實際問題ナク行キマスケレモノ、引取課稅ノ物ニ付キマシテハ、其ノナ風デゴザイマス、隨ヒマシテ小賣課稅ニ付キマシテハ、大體問題ナク行キマスケレ値上シテ賣ル時期ガ遅レテ居ルト云フヤウシク製造場カラ引取ラレル品物ハ、新シク値段ヲ高クシテ賣ルト云フヤウニ、直グニ

○森田委員 今ノ主税局長ノ御答辯ハ肯定致シ兼ネマス、酒デ言ヒマスカラ出税デスガ、サウ云フモノハ藏出シヲスル時ニ税ヲ納メタモノノ價格デ仕入レテ居ル店ハ、其ノ税ガ直グ課カラヌ、今アナタノ御説明ニ依ルト、高ク賣ツテハイカヌ、税ヲ見込ンデ賣ルコトハナイデハナカト云フ御答辯デアリマスガ、サウスレバ煙草ハ一體ドウシテ居マスカ、專賣局カラノ引取價格ハ舊價格デ引取ツテ、小賣店ニ在ルモノハ其ノ價格ノ改訂ノ日カラ取ツテ居ルデハアリマセヌカ、アナタノ言分デアレバ、ソレハ理論ガ一定セヌコトニナリマス、私ハサウ云フ風ニ考ヘナイ、三月三十一日マデノ公定價格ガアツテ、其ノ翌日カラ税法ノ實施ヲヤツテ行フ以上ハ、是ガ從前ノ仕入品デアルカ、取引課税ノ入ツテ居ルモノデアルカドウカト云フ見境ハ何處デ付ケマスカ、アナタ方ノ頭ヲ以テシテモ其ノ見境ハ付カヌト思フ、三月三十一日マデニ仕入レテ居ツタモノガ、四月一日カラ賣出ス時ニ、税法ガ施行サレレバ即時ソレハ税ヲ加ヘタモノヲ販賣價格ト認ムベキモノデアル、ソレハ煙草ノ例ニ依ツテモ明ニナツテ居ル、ソレヲ今引繰リ返シテオヤリニナルナラバ、アナタノ本家本元ノ大藏省ノ所管デアル專賣局賣出シノ煙草ハ、一體ドウシテ吳レル、今日デモ前ノ定價ノ付イタ煙草ヲ其ノ儘賣ツテ居ルデハアリマセヌカ、ソレハドウスルノダ、ヤハリ三月三十一日限りデ公定價格ノ決マツテ居ルモノハ、四月一日ヨリ本法施行ニ依ツテ、直チニ其ノ課税ヲ加ヘテ賣ル

ベキガ順序デアリマス、又サウシテ行カナ
ケレバ整理ガ立ツテ行キマセヌ、アナタノ
ヤウナコトヲ言フナラバ、是ハ前ノ仕入ダ
カラ上ゲヌデモ宜イ、是ハ四月一日ノ仕入
ダト云フ、其ノ見分ヲ何處付ケマスカ、
四月一日カラ仕入レテ、四月一日ニ賣ル物
ガ無、イトハ限リマスマイ、サウ云フヤウニ
ヤツテ行クコトニ依ツテ、ソンナ方法デ闡
取引ヲ獎勵スルコトニナル、是ハアナタ方
ノ方デ能ク協議シテ、ハツキリシテ置カナル
ケレバ大キナ問題ニナル、今ノヤウナ見解
ハ承服シマセヌ

○大矢政府委員 煙草ノ小賣價格ニ付テハ
サウ云フ風ニシテ居リマスカラ、サウナリ
マス、私ハ唯之ヲ引取課稅ノ物モ四月一日
カラ上ゲテ宜イト云フ、風ナ措置ヲ執ルノ
モ、一ツノ行キ方カト存ジマス、併シナガ
ラ必ズシモサウ行カナクテモ宜イ、今マデ
ノ支那事變特別稅法ノ施行ノ實蹟カラ見テ
モ、「デパート」等ニ於テ必ズシモサウ云フ
ヤウニヤツテ居ナイ、ソコニ小賣課稅ト引
取課稅ト自ラ多少違ヒガアルノデ、理論上
必ズシモ四月一日カラ即時値上シナケレバ
ナラスト、一概ニ言ヒ切レナイモノガアルト
云フコトヲ申上ゲテ居ル次第デアリマス

○森田委員 ソレハサウ云フコトガ見解デ
アツテ、地方ノ經濟警察官トカ云フ檢驗シ
テ行ク人間ハ、ドウ云フ見境デ行クノデス
カ、多少トカ何トカ言ハナイデ、ココハ明
明白々ニシテ置イタラドウデスカ

○新倉政府委員 消費稅デ消費者ニ轉嫁ス
ベキモノハ、消費者ニ轉嫁スベキダト思ヒ
マス、隨ヒマシテ其ノ範圍ニ於テ價格ヲ上
げルト云フコトハ、私モソレデ宜イト思ヒ
マス、唯先程來ノ御議論ハ、消費稅ヲ消費

者ニ轉嫁セル方法トシテ、公定價格ヲ直
チニ變更スルカシナイカ、斯ウ云フ御話デ
ゴザイマスカラ、公定價格ノ變更ハ必シ
モ稅ノ問題ダケデナシニ、他ノ點ヲモ併セ
考ヘテ決メルノダカラ、其ノ併セ考ヘテ決
メタモノガ公定價格ニナルノデ、今マデノ
公定價格ニ「プラス」稅ト云フモノダケヲ以
テ、新シニ公定價格トスルト云フ一般的の原
則ト云フモノハ、必ズシモサウハ申セレナ
イ、斯ウ申上ゲタノデアリマス、唯實際問
題トシテ、例ヘバ三月三十一日マデニ公定
價格ノ改訂ガ出來ルモノハ、ソレニ對シマ
出来ナイモノガアツテ、取引ノ安全ヲ阻碍
スル結果ニナツテハイカヌデハナイカト云
フ御趣旨ダラウト思ヒマス、ソレニ對シマ
シテハ或ハ一日、二日遲レル爲ニ公定價格
デ行クト云フ方針ヲ執ルモノモゴザイマセ
ウシ、サウデナクテ公定價格ヲ得ラレナイ
場合ニハ、其ノ稅ノ轉嫁ヲドウ云フニス
ルカト云フ方針ヲ定メテ、取引ノ安全ヲ害
サナイヤウニ致ス所存デゴザイマス。
○堀切委員長　只今物價問題ガ大分ヤカマ
シクナツテ居リマスカラ、商工大臣ハ能ク
御聽キ下サツテ明答ヲ與ヘラレンコトヲ望
ミマス。

○木村政府委員　私カラ一寸——稅法改正
ノ結果、今マデノ公定價格トノ關係或ハ
被課稅物件ニ對スル關係等色々御質問ガ出
マシタガ、商工省トモ十分協議ヲ致シマシ
テ、適當ノ機會ニ御答スルコトニ致シタイ
ト思ヒマス。

○堀切委員長　ソレデハ其ノ點ハサウ云フ
コトニ致シマシテ……

○渡邊委員　幸ヒ商工大臣ガ來ラレマシタ
カラ、私ハ大臣カラサウ云フ御話ヲモウ一

ル問題デアリマシテ、今マデ物價局次長ノ御答辯ニ依リマスト、消費稅ヲ新ニ課稅ヲスルヤウニナツテモ、物價問題トハ別問題ダ、斯ウ云フヤウナ御方針デアルヤウニ聽イテ居リマス、所ガ今問題ニナツテ居リマス織物消費稅ハ、勞勵階級向キ縦綿横紡毛絲ノ物ニ一割課稅サレマス、一割課稅ノ織物ハ其ノ他ニモアリマスケレドモ、一割課稅ヲサレル、工業者ノ「マージン」ト云フモノハ、物價局デハ五分ト見テ居リマス、ソコヘ一割ノ稅金ヲ付ケマスカラ、若シ之ヲ新倉次長ノヤウナ言葉デ言ヒマスナラバ、四月一日カラ其ノ織物ハ「ストップ」セラレマス、五分ノ利益ノ所ヘ一割稅金ノ課カルモノガ茲ニ現ハレテ來ル、ソレヲ今マデノ公定價格ト云フモノニ「プラス」稅金ト云フモノヲ付ケテ、公定價格ニ直グ即日直スト云フコトガ適當デアル、サウデナケレバモウ其ノ商品ハ動カナイト云フ結果ニナル、此ノ點ニ付テ今大藏省ト能ク申合セテト云フダケノ御答辯デ余私質問者トシテハ得心ガ行キマセヌカラ、商工大臣ノ本當ノ頭デ御答辯ヲ願ヒタイ

○藤原國務大臣 商工大臣ノ頭デ考ヘマシテモ、大藏省ノ政務次官ノ只今御答シタ通りデ宜カラウト思ヒマスカラ、能ク兩省協議ヲ致シマシタ上デ、適當ナ機會ニ政府ノ確定シタ意見ヲ申上ゲタ方ガ宜カラウト存ジマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

○堀切委員長 ソレデハサウ云フコトニ致シマシテ、次ノ質問ニ移ツテ戴キマス

○渡邊委員 サウ云フコトデ宜シイガ、ソレナラバ商工大臣ガ仰シヤルノハ何時申合セラシマスカ、是ハ四月一日マデ放ツテ置

思ヒマス、商工大臣ノオ出デニナラヌ前ニ
委員會ニ……ト呼フ者アリソレデハ此ノ
問題ハ速ニ御答辯ヲ願フコトニ致シタイト
留保サレテ居リマシタコトハ、所謂物價問
題デアリマス、低物價政策ハ勿論現政府ガ堅
持サレテ居ルヤウデアリマスガ、事實ハ闇
相場ガ横行シテ、物價政策ハ物資配給ノ宜
シキヲ得ザルニ依リマシテ、其ノ闇相場ハ
横行シテ居ル、此ノ弊風ヲ根絶シナケレバ
ナラナイト云フコトハ當然デアリマスガ、
此ノ狀態ハ大藏大臣モ内務大臣モ御認ニナ
ツテ居リマス、ソコデ、商工大臣ハ此ノ物
價政策、闇取引ノ横行ニ對シテ、ドンナ御
考ヲ持ツテオ居ニテアリマスカ、其ノ點ヲ
承リタイト思ヒマス

○譲原國務大臣 只今御質問ノヤウニ、色
色ナ闇相場其ノ他不幸ナ現象ヲ來シテ居
リマスト云フコトニ付テハ、政府トシテモ
頗る遺憾ニ存ジテ居リマス、ソレデ此ノ儘
ニハ捨置ク譯ニ参リマセヌカラ、一日モ早
ク適正價格ト云フモノヲ設定シテ、サウシ
テ之ヲ是正シテ参リタイト云フ積リデ、日
夜諸般ノ方策ヲ講ジツツアル所デアリマス
カラ、左様御承知ヲ願ヒマス

○渡邊委員 適正價格ヲ御作リニナルト云フ
ノハ、全商品ニ付テノコトデアルノデアルカ、
内務大臣ノ御答辯ノ中ニ斯ウ云フ御言葉ガ
アリマシタ、經濟事犯デ澤山ナ者ヲ取締ツ
テ居ルケレドモ、九割九分ハ說諭デ濟シテ
物價ノ問題ニ付テハ重點主義ヲ御採リニ
ナツテ、物價デ色々机上ダケデ押ヘテ行カズ

○堀切委員長 イヤ三十万ノ戸數デス
○渡邊委員 三十万ノ戸數デ二十万ガ違反
ヲ起シタ例ガアリマス事ヲ御發表デアル、
斯ウ云フヤウナコトデ、如何ニ藤原商工大臣
ガ御手腕ガアリマシテモ、全面的ニ之ヲ
適正ナ方法ヲ御設ケニナルコトハ難カシイ
デヤナイカ、ソコデドンナ御方針ガアルノ
デアルカ、炭ニシテモ、米ニシテモ、又肥料
等ニ於テモ、兎ニ角違反ナラザルモノナ
シ、決シテ公定價格ハ守ラレテ居ラナイ、
此ノ現状ニ對シテ本當ニアナダノ今後採ラ
ウト云フ御所見ヲ承ツ、テ置キタイト存ジマ
ス

○藤原國務大臣 如何ニモ御尤モナ御尋デ
アリマス、私ノ考ヘテ居リマスコトハ斯ウ
云フ際ニ何百何十、或ハ何千ト云フヤウニ
商品ノ數ハ非常ニ多イノデアリマシテ、ソ
レガ重ナリ重ツテ斯ウ云フ現象ヲ呈シテ居
ルノデアラウト存ジマス、此ノ點ニ於テハ
渡邊君ノ只今御述べニナリマシタヤウナ事
態ニナツテ居ルヤウニ、私モ認メテ居リマ
スガ、唯其ノ認メル程度ニ於テハ多少ノ相
違モゴザイマセウガ、兎ニ角モ斯ウ云フヤウ
ニ現状ハ混亂ヲ來シテ居ル、サウ云フ譯デ
アリマスカラ、之ヲ一齊ニ直チニ右カラ左
ニ適正價格ヲ設ケテ是正スルト云フコトハ、
是ハドウモ一寸出來兼ネルコトデアラウト
思ヒマス、ソレデアリマスルカラ先ヅ私ノ
考ヘテ居ルコトハ、玩具箱ヲ引繰リ返シタ
意思ハナイカアルカ、委員長カラモソソナ
御話ガアリマシタガ、三十万ノ人口ノ所
デ……

○内藤委員 關聯事項ニ付テ御尋申上ダマス、今ノ御趣旨ハ分リマシタガ、適正價格ト云フコトハ、言葉ハ洵ニ良イヤウデアリマスガ、抽象的デ私共ハ分ラヌノデス、ソコデ御尋スルノハ適正價格ト云フコトハ、云フコトガ商工省令デアルヤウデス、ソコデ實蹟ト云フコトガヤハリ一ツノ適正價格ニナルデアラウト思ヒマスガ、其ノ實蹟ニ依ルトニ依ル適正價格ト云フモノニ付テハ、ドウ云フ御考ヲ御持チニナツテ居ルノデアリマセウカ、例ヘバ商工省令ノ三月四日ナラ三月四日ノ實蹟ニ依ルト云フ時ニ、二月半ベ頃ニ賣ツタ價格ヲ標準ニスルノカ、三月十日ノ價格ヲ標準ニスルノカ、三月四日ト云フ實蹟ノナイ時ハ、其ノ日ヲ何レヲ近クスルノカ遠クスルノカ、其ノ適正價格ト云フ解釋如何ニ依ツテハ、閻取引ダト云ツテ罰セラレテ居ル者ガ澤山アル、商工省ノ下級ノ或ルオ役人ノ考如何ニ依ツテ、罪人ガ出来タリ出來ナカツタリスル、是ガ日本全國ノ現象デス、若シ大臣ガ分ラヌト仰シヤレバ、私ハ記錄ヲ持ツテ來テ見セテアゲマス、其ノ時ノヘノ役人ノ頭デ近イ所ト遠イ所ト、例ヘバ入學試験ナラ四十二近イ所デ七デ割リ切レルモノハ何デスカ、ソレニ對ベ、私ハ記錄ヲ持ツテ來テ見セテアゲマス、シテ四十二デスト答ヘタ人ハ及第、三十五苦慮致シテ居リマス次第デアリマス

ト答へタラ落第、サウ云フ學校ノ入學試験
デハナイノデス、都合ノ好イ時ニ近イ所、都
合ノ悪イ時ハ遠イ所ニ持ツテ行ツタリシテ
現在實際行ヘレテ居ル、ソレデアリマスカラ
適正價格ト云フコトヲ此ノ際ハツキリ伺ツ
テ置キタイ、適正價格ハ實蹟ノナイ場合ハ、
近イ所デヤルノカ遠イ所デヤルノカ、近イ
場合ト遠イ場合トデハ個々デ違フノデス、
甲ノ家ト乙ノ家ト違フ、丙ノ家トモ違フ、
實蹟ト云フノハ個別的ナ實蹟ニ依ルノカ、
或ハ組合全體ノ實蹟ヲ標準トシテ、適正價
格トスルノカ、其ノ點ヲ伺ツテ置キタイ
○藤原國務大臣 詳シイコトハ政府委員ヨ
リ御答辯ヲ申シタ方ガ間違ヒガナクテ宜力
ラウト思ヒマス、ソレデ私ノ適正價格トシ
テ狙ツテ居リマスコトハ、度々申上ゲタ通
リニ、何ト云ツテモノ價ヲ構成シテ居ル所
ノモノハ、原料トカ勞力トカ、ソレカラ爲
替相場ノ變動トカ、色々其ノ構成シテ居ル
所ノ分子ガアリマスカラ、サウ云フモノヲ
一應標準ニ致シマスケレドモ、ソレニ拘泥
シテ餘リソレニ因ハレテ微ニ入り細ヲ穿ツ
テ研究シテ居ツテハ敏速ニ行カナイ、今日
ノ現狀デハ餘リ正確ヲ期シテ遲クナルヨリ
モ、少シハ間違ヒガアツテモ早イ方ガ宜イ、
ダカラソレニハ成ベク色々分子ヲ考究ス
ルコトハ考究スルケレドモ、ソレハ考ノ標
準ニハスルケレドモ、腰ダヌデ以テ手取早
クヤツテシマフ、斯ウ云フノガ今ノ私ノ考
ソレガ果シテ私ノ考ヘテ居ル通リニ巧ク行
キマスカ、又ハヤツテ見テ巧ク行カナケレ
バ、直グニ又之ヲ變ヘルトカ云フヤウニ、
餘リ固著シテ私ハ考ヘテ居リマセヌ、何デ

モ現實ニ即シテ、之ヲ早ク片付ケテ、一日
モ早ク國民ニ斯ウ云フ迷惑ヲ少クスル、又
ハ根絶スルト云フヤウニ、國民生活ヲモウ
少シ樂ニ導イテ行クト云フコトガ、商工省
ノ責任ト信ジテ、サウ云フ方針ヲ以テヤラウ
ト今考へテ居ツテ、諸般ノ準備ヲ進メテ居
ル譯デアリマス、尙ホ只今ノ詳細ノコトニ
付キマシテハ、政府委員カラ御答辯申上ダ
マス

ニナツテ居ナイ、從來ノ取扱ハソレガ爲ニ
個々ナンデス、甲乙丙ト違フ、市場價格ト組
合ノ値ト違フ、ダカラオ前ノ所ハ特別ノ關係
ガアルカラ勉強シテ、例ヘバ二十圓デ賣
ルベキモノヲ十五圓デ賣ツタ、併シ片一方
ニハモット外ノ値デ賣ツタ、甚シイノハ四
十錢位高ク賣ツタト云フノデ、刑事被告ニ
ナツタ人モアルノデアリマス、私共ハ實例
ヲ澤山知ツテ居ル、今アナタノヤウナ御話
ダトソレガナクナル筈デアル、アナタノ今
ノ御話ハアナタ方ノ下ノ方ノ役人ガ裁判所
ニ對スル回答ヲ間違ヘテ居ルノデス、故ナ
クシテ罪ニ處セラレル者幾千人アルカ分ラ
ヌノデアリマス、之ヲ救濟スルニハドウ云
フ風ニシテ救濟ナサルノデアリマスカ、次
長ノ御答ヲ願ヒマス

濟ナサル、ソレハニアタノ仰ツシヤル信念
御言葉ガ間違ヒナイトスレバ、何等カノ方
法デ無辜ノ民ヲ救濟スルヤウニセラレナケ
レバナラヌ、業者ハ決メタ値ト實際ハ違ツ
タ値デ賣ツタリシテ、實際ト組合値ト違ツ
テ居ル、個々ノ實蹟デ行クモノデアルカラ
被告人ガ澤山出來ル、ソレガ爲ニ非常ニ迷
惑シテ居ル者ガ幾千人幾万人アルカ分ラス、
アナタガソレデ宜イト仰ツシヤルナラバ、
アナタガ操リノ才ヲ放シニナル方法ヲ御
執リニナラナケレバナラヌ、唯研究スル、
指導スルトダケデハイケマセス、具體的ニ
御示シニナルノカナラヌノカ、口ノ中デゴ
チヤゴヤチト胡麻化ス程度デオヤリニナル
ノカ、ハツキリ御答ヲ願ヒタイ

云ノフノハ、モウ少シ吾々ハ低物價政策ト云
フモノト關聯シテ考ヘテ居ルノデスガ、其
ノ點ヲ伺ツテ見タイト思フノデアリマス
○藤原國務大臣 適正價格ヲ決定シテ公定
價格ヲ引上ガナクテハナラナイモノモアリ
マセウ、其ノ適正價格ヲ算出シテ、ソレヲ
檢定シテ、ソレガ爲ニ適正價格ノ變更ヲシ
テ物價ヲ上ガナクテハナラヌモノモアリマ
セウガ、政府ハ物價ヲ上ゲルト云フコトヲ
目的ニシテ適正價格ヲヤラウ、斯ウ云フ意
味デハナイ、兎ニ角今日ノ所デハ低物價政
策ハ何處マデモ堅持シテ行ク、ソレ故ニ有
ユル方面カラ低物價政策ヲ維持シテ行クト
云フ方針ヲ執ツテ居リマスルコトハ、度々
申上ゲタ通リデアリマス、併シナガラ又一
面ニ於テハ物資ノ缺乏ト云フモノヲ防ガナ
クテハナリマセヌ、ヤハリ物資ヲ増産セシ
メテ、サウシテ國民ニ物資ノ不足ヲ告ゲサセ
ナイト云フ、所謂國民生活ヲ確保スルド云
フヤウナコトヲドウシテモヤラナクテハナ
ラヌ、如何ニ低物價政策ガ貫徹シテモ、物
資ガ益、缺乏シテ、國民生活ニ益、困難ヲ與
ヘルト云フヤウナコトハ政治デハナイト思フ、
ソレ故ニ一面ニ於テハ、低物價政策ヲ堅持シ
テ、一面ニ於テハ物資ノ増産ヲシテ行カナ
クテハナラヌ、ソレデアリマスカラ、適正價
格ヲ設ケテ、サウシテ一面ニハ増産ヲ獎勵シ
ナケレバナラヌ、デスカラ増産モ出來テ、適
正價格デ以テ行く、斯ウ云フ場合ニ價格ヲ
上げテ行カナケレバナラナイヤウナモノガ
アレバ、是ハ致シ方ガナイ、若干ノ價格ヲ上
ゲルト云フコトハ、當然ノコトデアラウト
思フ、併シナガラソレハ必ズシモ低物價政策
ニ逆行シテ居ル處置トハ考ヘテ居リマセヌ
○河野委員 モウ一言御伺致シマス、九・

一八ノ物價停止令ガ全面的ニ破レマシタノ
ハ、前ノ商工大臣ノ伍堂サンガ、適正價格
デ行クト云フコトヲ發表ニナツタコトガ、全
國的ニアノ九・一八ヲ破ツタ一番大キナ原因
デアツタト思ヒマス、其ノ時私達ガ前ノ阿部
内閣總理大臣ニ會ツタ時ニ、アレハ大失敗
デアツタ、斯ウ率直ニ言ハレマシタ、私ハ
藤原サンノ御考ニナル所ハ能ク分リマス
ガ、適正價格ト云フコトヲ今言ハレマスナ
ラバ、恐らく全國的ニ沿々トシテ行ハレ
サウナツタラ一體低物價政策ハ何處へ飛ン
デ行クノカ、私達ノ解スル所ニ依レバ、適
正價格ト云フノハ、今日ノ時代ニ於テ勞資、
運貨、或ハ原料、其ノ他ノ値段ヲ決メテ、
其ノ上ニ立ツテ行ツテ、適正ナル價格ヲ決
メルモノデハナイカト思ヒマス、サウ云フ
コトハ恐クハ出來ナイコトデアルト思
フ、所謂政治上ノ力ニ依ツテ、諸般ノ情勢
カラ此ノ限度ニ於テ決メルトカ、國內的ニ
正シイト云フコトデ決メテ、ソレヲ强行シ
テ行クコト以外ニハ、今日ノ物價政策ハ私
ハナイト思ヒマス、若シ、商工大臣ガ斯ウ
云フ税ノ委員會ダカラ、サウ云フコトヲ言
ツテモ宜カラウ位ニ輕ク考ヘテ言ハレルナ
ラバ、私ハ洵ニ心外ダト思フノデ御尋ヌル
ノデアリマス

○藤原國務大臣 輕クモ重クモ考ヘテ居リ
マセヌ、本當ノコトヲ御話申上ゲテ居リマ
ス、私ノ考デハ今日ノ闇相場ト云フモノ
ハ——商工大臣ガハツキリ、適正價格ト云フ
モノヲ現在ヤルト云フコトヲ主張スルノ
ハ、全般的ニ物資ニ對シテヤルノダ、適正
價格ト云フモノヲ決メルノダ、若シ適正價
格ト云フモノガ低物價政策ト背馳シナイモ
ノデアレバ、全般的ニヤルノダ、其ノ方法
ハドウ云フ方法デヤルノデアリマスカ、例
ハバ九・一八ノヤウナモノデヤルカドウカ

ノガ若シアリトスレバ、非常ナ高イ所マデ
飛ンデ行ツテ居ルト存ジマス、ソレデアリ
マスカラココデ適正價格ヲ持ヘテ、増産ヲ
シテ、物資ヲ潤澤ニスレバ、今日ノ闇相場
ニヤウナモノハ忽チナクナルト思フ、忽チ
ト云フノハ語弊ガアリマスガ、物資ヲ潤澤
ニスレバ、今闇相場ガ公定價格ノ何倍ニ行
クトカ、公定價格ノ何割ニ行クトカ言ツテ、
非常ニ高クナツテ居ルモノトスレバ、茲ニ増産
ヲ致シテ、物資ガ潤澤ニナレバ、ソレハ適正價
格マデ戻ツテ來マス、ソレ故ニ物資ヲ潤澤
ニシテ、増産ヲセシメテ、生産業者ヲシテ増產
ヲシテモ損ガ行カラヤウナ適正價格ヲ設
ケテ、サウシテ物資ノ増産ヲ圖ツテ行キ、
潤澤ニスレバ闇相場ノ如キモノハナクナツ
テ、適正ノ値段デ國民ガ之ヲ需要スルコト
ガ出來ルト、斯ウ考ヘテ居リマス、ソレガ
私ノ狙ヒドコロデアリマス

○河野委員 是ハ議論ニナルカモ知レマセ
ヌガ、商工大臣ハ物ヲ増産サレル、適正價
格ニシテ物ガ増産サレルト、斯ウ云フ風ニ
御考ニナリマスルガ、其處ノ所ガ根本的ニ
私ハ少シ考ガ達ウテ居ルノデハナイカト思
ヒマス、戰時經濟ト云フモノノ……

〔議論ハ止メロ」ト呼フ者アリ〕

○堀切委員長 簡單ニ願ヒマス

○北委員 府縣ノ主催スル協定委員會デ決
議ノモハ政府ノ方デ認可サレタナラバ、
ソレハ協定價格ト云フコトニナル、所ガソ
レマデノ間ハドウシテモ九・一八デ抑ヘラ
レテ居ルノデスカラ、處罰サレルノハ當然
ト思ヒマス、所ガ九・一八當時ニハ全ク實
蹟ノナカツタ物、斯ウシタ物ヲ賣ツタ場合
ニ、之ヲ府縣廳ニ於テハ勝手ニ自分ノ勘定
此ノ物ハ此ノ位ノ値段ダラウ位デ勝手ニ決
メテ、サウシテ之ヲ處罰スル、斯ウ云フ實
例ガ北海道ニアルノデアリマスガ、此ノ場
合九・一八當時ニ實蹟ノナカツタ物ハ勝手
ニ府縣廳ガ決メタモノニ從ハナケレバナラ
ヌノデアルカドウカ、是ハ今重大ナ問題ニ
ナツテ居ルノデアリマスカラ、一ツ政府ノ
方針ヲ知ラシテ置イテ戴キタイ、斯ウ考ヘ
タ品物ノ價格ノ問題デアリマスガ、是ハ所

謂新規製品、類似、或ハ類似ノ物ノ價格及
ビ其ノ生產費等カラ見マシテ適正ナ價格ヲ
決メルト云フコトデゴザイマシテ、府縣廳
ガ勝手ニ決メテ、其ノ價格デヤツテ行クト
云フヤウナコトハナイノデアリマス

○堀切委員長 ソレデハ渡邊君——アナタ
ノ御發言ノ終ルマデ、關聯事項ハドウゾ御
發言ナイヤウニ願ヒマス

○渡邊委員 ドウモ有難ウ、モウ少シデス、
要スルニ低物價政策ヲ堅持サレマスルコト
ハ勿論大賛成デアリマス、其ノ意味ニ於テ
御尋スルノデアリマス、ソコデ適正價格ヲ
順々ニヤツテ行クノダ、斯ウ仰シヤイマス
中ニ或ルモノニ付テハ内務大臣ハ斯ウ御答
辯ニナツテ居リマス、取締ニ於テ穩當ナル
取締ヲシテ居ルノダト内相ハ申サレタ、サ
ウスルト片方ノ穩當ナル取締ヲサレタ九〇%
ハ得心致シマスケレドモ、穩當ナル取締ヲ
受ケザル人ハ非常ナ不幸ヲ見ルノデアリマ
ス、商工大臣ハ順ヲ逐ツテヤツテ行クト云
フコトデアルガ、モウ少シ何カ重點主義デ
行クトカ、ドンナ方法デ行クトカ云フヤウ
ナコトヲ、ハツキリ承ルコトガ望マシイ次
第デアリマス

○藤原國務大臣 御尤モノ御尋デ、御希望
トシテハ其ノ通リデアラウト思ヒマスガ、
今此ノ席上デドウ云フ風ニシテ行クト云フ
コトヲ明ニ申上ガルダケノ準備ガ出來テ居
リマセヌカラ、出來ルダケ迅速ニ端カラ一
ツ宛片付ケテ行クト云フコトデ、ドウゾ御
諒承ヲ願ヒタイト存ジマス

○渡邊委員 ソレデハ私ノ方カラ大臣ニ私
ノ感ジヲ申上ガマス、低物價政策ノコトニ
付キマシテハ、商工省が第一ニ低物價政策
デ抑ヘルニハ、即チ生產者カラ離レル時ベ、

比較的取締ノ上カラ完全ニ抑ヘテ居ル、斯
カラ先ノ抑ヘ方ガマルキリ「ルーズ」ダ、例ヘ
テ言ヘバ、洋服地ノ如キ、大藏省ニモ關係
ガアリマスケレドモ、物品稅ノ付クヤウナ
洋服地ハ少ナイ筈デアリマス、純毛ガアル
トスレバ純毛ノ方ガ安い、純毛ノ洋服地ハ
「ス・フ」澤山入ツタ毛絲ト値段ガ大差ナク
公定サレテ居ルカラ高イ筈ガアリマセヌ、
物品稅ハ付カナイモノモ隨分アル筈デアル
ノニ、純毛ノ洋服ハ百圓以下デハ買ヘナイ
ノガ事實デアリマス、ソコヲ探ツテ見マス
ト、何處カニ違反ガアルニ違ヒナイ、ソコ
デ此ノ抑ヘ方ハ、最後ノ消費者ニ渡ル時ニ
安ク上ルヤウニ考ヘナケレバナラヌノデハ
ナイカ、例ヘバ生活必需品ニ付テハ切符制
度ヲ斷行スルトカ、所謂重點主義ヲ執ル、
サウシナクテモ宜イ物ハソコマデ手ヲ著ケ
ナイデ置ク、ソレヲ皆手ヲ著ケテ、ドレモ
是モ半端ニシテ置クコトハ宜クナイデハナ
イカ、斯ウ云フヤウニ思ヒマス、私ノ意見
ニ對シテ商工大臣ハドンナ御所見ヲ御持チ
デアリマスカ、承リタイト思ヒマス

○藤原國務大臣 生產者カラ配給者ニ渡り、
ソレカラ消費者ニ渡ツテ行ク、其ノ道行キ
ノ間ニ物資ガ缺乏シテ來テ、段々少クナツ
テ來テ居ル現狀ニ於テハ、今御話ノヤウナ
具合ニ生產者カラ配給者ニ渡ル時ニハサウ

ザイマシテ、之ニ對シテハヤハリ實情ニ依
チ配給ノ機構ヲ改善スルトカ色々ナ手段ヲ
以テ、サウ云フ所ニ之ヲ持ツテ參リタイ、
指摘ノヤウナコトヲ出來ルダケ少クシ、出
來ルナラバサウ云フコトノ絶滅ヲ期スルヤ
ウニシタイ、斯ウ云フ希望致シテ居リマ
ス

○渡邊委員 色々御答辯ガアリマシタケレ
ドモ、本當ニ其ノ點ヲ述ニ御決定ニナツテ
戴カナケレバ、此ノ物價政策ハ根本カラ誤
ツテ來ルノデハナイカ、抑ヘ易イ工業者ダ
ケニ付テ物價ヲ抑ヘ過ギテ、而モ五分シカ
「マージン」ガナイノニ一割ノ消費稅ガ附
ク、サウ云フコトニ付テハ新倉次長ノ如キ
ソレヲイツ訂正スルカハツキリシタ御答ガ
ナイ、斯様ナ狀態デハ無理ガ出來ル、分ツ
テ居ル所ハ壓縮シ過ぎ、片方ハ放チ過ぎ、
茲ニ私ハ物價政策ト云フモノニ不穩當ナル
點ガアルノデハナイカト思フ、不穩當ナル
點ガアルカラ内務大臣ガ穩當ナル取締ヲシ
テ居ルト思フノデアリマス、私ハ其ノ點ノ
考ヘ方ヲ聽イテ、次ノ問題ニ移リタイト思
ヒマス、ソレハ生產者カラ離レテ最後ノ
消費者ニ行クマデニ、ドノ位ノ「マージン」
ガアルノヲ適當ト認メテ居ルカ、是ガ私ハ
低物價政策ノ根本ダト思フ、生產者ノ手ヲ
離レテ消費者ノ手ニ移ルマデニ、ドレダケ
ノ「マージン」デ、斯ウ云フヤウナ目標ガア
ツテ、ソレニ依ツテアナタノ御意見ヲ實行
シテ行カナケレバイケナイト思ヒマスカラ、
其ノ點ニ付テノ御答辯ヲ承ツテ置キタイト
思ヒマス

○渡邊委員 ソレハ大體ト云フ趣意デゴザ
イマス、要スルニ私ハ追究スルコトヲ止メ
テ、此ノ委員會中ニ斯ウ云フモノハ斯ウ云
フ方針、斯ウ云フモノハ斯ウ云フ方針ダト
云フコトヲ一ツ明示サレルヤウニサレタイ
ト思フガ、如何ナモノデセウカ

○渡邊委員 從來公定價格ヲ作ツテ居
リマスモノハ數千點ニ上ツテ居リマス、是
等ノ公定價格ヲ作リマス際ニハ、御話ノヤ
ウニ生產者カラ卸、小賣ヲ經マシテ、サウ
シテ消費者ニ行クト云フコトデゴザイマス

カラ、卸ノ口錢ハ凡ソドノ位、小賣ノ口錢
ハ凡ソドノ位ト云フコトハ、大體ノ標準ヲ
付ケテヤツテ居リマス、併シ其ノ標準ハ渡

邊サンモ御承知ノヤウニ同ジ纖維デゴザイ
マシテモ、絹織物ト毛織物或ハ人絹トデハ
隨分違ヒマス、隨ヒマシテ大體ノ標準ハド

ウカト云フコトハ御答致シ兼ネマスケレド

モ、少クトモ卸ノ業者デゴザイマスト一割
以内位デゴザイマス、物ニ依ツテ三分ノ所
モアリマスシ、五分ノ所モゴザイマスシ、
七分ノ所モゴザイマスケレドモ、一割以内
デゴザイマス、ソレカラ小賣ノ方ハ、極ク
大體ノ標準ヲ申シマスト、一割カラ二割二
三分ト云フ間デ、物ニ依ツテ色々違ツテ居
ルノデアリマス

○渡邊委員 今ノ御言葉ノヤウナコトデハ
ハツキリ致シマセヌゾデ、商工省カラ資料
トシテサウ云フモノヲ此ノ委員會ニ御提出
ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、出來マスカ

○新倉政府委員 御提出出來ナイモノモア
リマスガ、提出出來ルモノハ提出致シマス
○渡邊委員 出來ナイモノトハドウ云フモ
ノガアルカ、斯ウ云フモノハ出來ナイ、斯
ウ云フモノハ出シマスト云フ風ニ御答辯ヲ
願ヒマス

○新倉政府委員 今此處デ是ハ出來ル、是
ハ出來ナイト云フコトハ御答辯致シ兼ネマ
スガ、出來ルモノハ成タケ御提出致シマスカ
○渡邊委員 是ハ此ノ程度ニシテ次ニメリ
マス、是ハ商工大臣ニ關聯シテ居リマスカ
ラ、少シ御待チ願ヒタイト思ヒマスガ、產
業組合等ノ課稅ノコトデアリマス、特別法
人稅トシテ設ケタル理由、尙又止メル意思
ハナイカ、其ノ點ヲ主稅局長カラ御答辯ヲ
願ヒタイト思ヒマス

○大矢政府委員 従來産業組合、商業組合、
工業組合、貿易組合等ハ、是等特別法人ノ
性質ニ鑑ミマシテ、或ハ營業収益稅トカ、
或ハ所得稅トカ云フモノハ免稅シテ居タノ
デアリマスルガ、最近ノ我國ノ情勢カラ見
マシテ、國庫ノ需要ハ漸次增加シテ參ツテ、
一般國民ノ負擔モ漸次增加シテ參ツタノデ

アリマス、一方ニ於キマシテ、是等ノ組合ハ、隣保共助ノ精神ニ依リ、同業者ノ相互ノ福利ヲ増進シテ行クト云フヤウナ公共性ヲ持ツテ居リマスケレドモ、又一面ニ於テ或る程度經濟行爲ヲ營ミ、剩餘金ヲ得テ、サウシテ出資ニ對シテ剩餘金ノ配分モシテ居ルト云フノデゴザイマスカラ、一般國民ノ負擔ガ漸次增加スル今日ノ情勢致シマシテ、是等ノ特別法人ニ付キマシテモ、臨時ニ當分ノ間、或ル程度ノ國費ノ負擔ヲシテ戴クノハ、時局柄已ムヲ得ナイコトデハナイカト、斯ウ存ジマシテ、其ノ特別法人稅ヲ創設スルコトニ致シタ次第デゴザイマス○渡邊委員 其ノ當分ノ内ト云フ點ニ付テデスガ、何時マデヲ當分ノ内ト言フノカ、其ノ當分ノ内ト云フ觀點ヲ御答辯願ヒタイト思ヒマス

○大矢政府委員 此ノ度ノ稅制改正ニ於キマシテ、相當ノ增收ヲ圖ツテ居ルノデゴザイマス、ソレハ今回ノ事變が長期建設ノ段階ニ入りマシテ、將來ノ財政需要モ當分ノ内減退スルト云フ見込モゴザイマセヌノデ、此ノヤウナ狀態ガ續イテ行ク限度ニ於キマシテ、當分ノ間負擔シテ戴カウ、斯ウ云フ趣旨デゴザイマス

○渡邊委員 ドウモ當分ノ内ト云フコトノ意味ガ難カシイノデスガ、是モ餘り掘下ゲテ御尋スルコトハ止メマス、茲デ産業組合、商業組合、工業組合等ニ課稅サレルノデアリマスガ、工業組合、商業組合ニ付テ、商工大臣ハ課稅シテモ差支ナシト認メラレテ居ルノカドウカ、御列席デスカラ其ノ點ヲ御答辯願ヒマス

○藤原國務大臣 商業組合、工業組合ハ御說ノヤウニ、實施後マダ日ガ淺ク、組合ノ

基礎ガ十分鞏固デナイモノモ少クナインデ
アリマスカラ、是ハ一面ニ於テハ保護助成
モ講ジテ參リタイト存ジテ居リマスシ、又
サウシテ行クノハ勿論デアリマスガ、併シ
今回ノ特別法人税ハ、此ノ組合ガ相當ノ利
益ヲ上げマシタ場合ニ、此ノ利益ニ對シテ比
較的輕イ程度ノ課税ヲ爲スト云フコトヲ目
的トシテ居ルノデアリマスルカラ、只今主
税局長カラモ御説明ヲ申上ゲタ通リニ、今
日戰時下ノ斯ウ云フ場合デゴザイマスルカ
ラ、ヤハリ課税ヲスルト云フコトハ已ムヲ
得ナイコトデハナイカト存ジテ居リマス
○渡邊委員 工業組合ガ共同デ販賣事業ヲ
行フ、斯ウ云フコトハ販賣行爲ト認メルノ
デアルカ、或ハ工業者ガ生産スルモノヲ、
個人々々ニ代ツテ共同デ賣ルト云フ建前デ
アルノカ、其ノ點ニ對スル商工大臣ノ御觀
點ヲハツキリ承リタイ、ソレニ依ツテ課税
シテ善イカ惡イカト云フ問題ガアリマス、
個人々々ガ賣ルノラ——大臣能ク聽イテ貰ヒ
タイノデス、個人々々ガ賣ルノラ國家ガ必
要ニ依ツテ共同デ賣ラシメル、ソレニハ手
數ガ要ル、其ノ手數料ヲ取ツタ餘リガ利益
金ダ、斯ウ解釋ニナツテ行クナラバ、ソレ
ハアナタノ御答辯ガ間違ツテ居ルト思ヒマ
ス、工業組合ナリ商業組合ナリガ、共同ノ
利益ノ爲ニ共同販賣事業ヲスルノデアルカ
ドウカ、此ノ點ヲハツキリ承ツテ置キタイ
○藤原國務大臣 政府委員ヨリ御答辯申上
ゲマス

○妹川政府委員 組合ノ組合員各自ノ共同
ノ事業デアリマス
○渡邊委員 例ヘバ、具體的ニ申シマスト、
「マージン」ヲ五分ナラ五分ト決メタラ、公
定價格ノ織物ニ對シテ、國家ガ統制上必要
デアルカラ共同販賣セヨ、斯ウ言ツテ指示
シテ居ル、ソコデ仕方ナシニ共同販賣スル
ノダ——仕方ナシニト言フト語弊ガアルカ
モ知レマセヌガ、國策ニ順應すべく共同販
賣スル、サウシテ價格ハ公定サレテ居ル、
所ガ個人々々デ賣ツタ方ガ、ソンナ面倒ヲ
スルヨリハ、直グ甲カラ乙ニ行クカラ樂デ
アル、ソレニ其ノ手數料ヲ取ル爲ニ手數料
ノ過不足ガアル、恐ラク工業組合デモ、商
業組合デモ各種ノ聯合會ト云フモノハ資本
金ト云フモノハ殆ドアリハシマセヌ、サウ
シテ國策ヲ代行シテ居リマス、ソレハ其ノ
「バック」ニ多數ノ組合ヲ持ツテ居リマスカ
ラ、何時デモ賦課徵收シテ來ル、其ノ賦課
金ヲ徵收シテ、餘ツタ金ガ所謂資本金トナ
ルカラ、稅金ヲ課ケルト云フナラバ、國家
ノ仕事ヲスルカラ稅金ガ掛ルコトニナル、
ソレナラバサウ云フコトヲサセナイ法律ニ
シタラ宜イデハナイカ、其ノ點ヲハツキリ
承リタイ

○渡邊委員 私ハ大臣ニ御答辯ヲ願ヒマス、
ドウモ私ノ質問ト違ヒマス、私ノ言ヒマス
ノハ共同ノ利益デハナイ、規格ガ決マリ、
公定價格ガ決ツテ居ル、其ノ上ニ何ガ共同
ノ利益デアルカ、國策ヲ代行スルノダ、ソ
レヲ國家ガ代行セシメテ、共同デ賣ラシテ
居ル、其ノ時ニ其ノ工業組合又ハ聯合會ハ手
數ガ要リマスカラ、其ノ手數料ヲ取ツタ、
所謂工業者ノ受ケル「マージン」ノ中カラ負
擔ヲシテ居ルト云フモノガアルノデアリマ
ス、サウ云フモノニ對シテ稅金ヲ課ケルト
云フコトハ、抑、間違ツテ居ルノデハナイ
カ、斯ウ云フ譯デアリマスカラ、商工大臣
カラ御答辯ヲ願ヒマス

○藤原國務大臣 索ハ段々細カク申上ガル
コトハ、一寸事情ニ通ジマセヌデ困難デス
カラ、政府委員カラ御答辯ヲ申上ゲマス、
ドウゾ惡シカラズ

ザイマセヌ、商業組合ノ方ハ一月末ノ現在
デ五千六百バカリノ組合ニナツテ居リマス
ガ、其ノ中ニハ統制事業ダケヲヤツテ居ル
組合ガ十四バカリゴザイマス、斯ウ云フ統
制事業ダケヤツテ居ル組合ハ課カラナイ、
斯ウ云フ譯デアリマス
○渡邊委員　ドンナコトヲヤツテ居ルノガ
統制事業ダケヲヤツテ居ルノカ、聯合會ト
云フノハ、國策ニ代行シテ統制事業ダケヲ
ヤツテ居リマス、工業組合デ出資ト云フコ
トハ、工業組合ハ經濟團體デアリマスカラ、
シテ居ルノガ聯合會ニハ多イト思ヒマス、
出資ヲシナケレバ工業組合法ニ適合シナ
イ、許サレナイ、隨テ極メテ少額ナ出資ヲ

業ノ組合ニハ課税サレル、斯ウ云フコトニ
御諒解願ヒタイト存ジマス

○大矢政府委員 尚ホ此ノ際ニ少シ附加ヘ
テ御答シテ置キタイト存ジマス、商業組合、
工業組合等ニ課税ヲ致ス場合ニ於キマシテ
モ、是等ノ法人ハ比較的小法人デゴザイマ
ス、隨ヒマシテ剩餘金ガ少イ場合ニハ、法
人稅ヲ免除シヨウ、斯ウ云フ考カラ致シ
マシテ、拂込済出資金ニ對シテ年三分ヲ超
エナイ場合ニハ、免稅スルト云フコトニ致
シテ居リマス、隨ヒマシテ、斯ウ云フ組合
自體ハ、營利本位ノ事業ヲヤツテ居ルモ
ノデハアリマセヌカラ、多クノ場合今申上
ゲタ規定ニ依リマシテ、免除セラレルカト

○藤原國務大臣 御尤モナ御尋テアリマス
ガ、外ノコトヲ何ニモセズニ、國家ニ代ツテ
統制ノミラヤツテ居ル組合ニハ課稅シナイ
サウデアリマス、ソレデ工業組合、商業組
合ト云フヤウニ、ソレノミデナシニ、組合
員ノ爲ニ組織セラレテ、組合員ノ爲ニ共同
ノ利益ヲ目的トシテ組織セラレタ組合ガ、
只今御話ノヤウニ國家ノ仕事ヲ代行シタ

○渡邊委員　総制事業ノミ行ツテモ、ソレノ賦課金ヲ取りマスカラ、金ガ餘ル筈デアリル、サウシテ恐ラク聯合會ト云フノハ、統制事業ダケヤツテ居ルト云フ見方ヲシテモ、差支ナインオデハナイカ、サウスルト聯合會ニハ課カラヌカト云フ解釋ニナル、聯合會ハ課カラヌノデスカ、主税局長ノ御答辯ヲ

其ノ業態ニ依リマシテハ多額ナ金額ヲ取ヒ
マス、隨て剩餘金モ時々、賦課金ニ依ツテ
生ズルモノガ多クナツテ來ル、斯ウ云フモ
ノニ稅金ヲ課ケル、斯ウナリマス、先づ第
一二商業組合デ統制、ダケヤツテ居ルノハ、
ドウ云フ仕事ヲヤツテ居ル組合カ、工業組
合ニハ出資ヲセズニ許スモノガアルカ、聯
合會ニ統制團體ナラザルモノガアルカ、此

思ヒマヌ文賦課金等モ特ニソレヲ積立テ、剩餘金ヲ多額ニシヨウト云フヨリハ、寧ロ諸般ノ經費支辨ノ爲ニ、組合員ニ對シテ賦課スル、斯ウ云フ場合ガ多カラウ、隨テ賦課金ヲ相當徵收スル組合等ニ於キマシテモ、ソレガ爲ニ多額ノ剩餘金ガ出テ來ルト云フ例ハ少イデハナカラウカ、隨テ之ニ依ツテ課稅ガ苛酷ニナルト云フコトハナイ

○大矢政府委員 聯合會デモ出資ナク統制ノミヤツテ居ル場合ニハ、課稅致シマセヌ、

ノ三點ヲハツキリ御答辯願ヒタイ
○妹川政府委員 實際問題カラ申シマスナ
ミ、文

デハナカラウカ、斯ウ云フ風ニ存ジテ居リ
マス

出資ヲ致シ、經濟行爲ヲ營ミ、乗餉金ヲ得テ、而モ歩戻シ以外ニ出資者ニ對スル配當モヤツテ居レ、斯ウ云フヤウナ場合ニ果免

ト考へマス、併シ法律ノ建前デハ、統制事業ノミヲヤリ得レ組合ト、經濟事業ノミヲ

○渡邊委員 多額ノ乗餉金ト云フノハ隨分アリマス、先ヅ丸ノ内ニアル糖業會館ノ如キ、アノハ組合ノ譲金デ出來タモノト思フ、

ヲスル、單純ニ統制ノミヤツテ出資モ致シテ居ナイ聯合會ガアリマスナラバ、斯ノ如

ヤリ得ル組合トヘ、明ニ工業組合法ニ於キマシテモゴザイン

皆何カノ組合ニ依ツテ出來タ建物ハ澤山アルノデアリマス、其ノ馳丸ノ内ヲ御歩キニ

○渡邊委員 キモノニ對シマシテハ課稅致シマセヌ
政府ハ工業組合ニ出資ヲセズ

マヌノデ、又只今申上ゲマシタヤウニ少數
デハアリマスガ、サウ云フ商業ノ組合モ現

ナレバ、立派ナ宏莊ナ建物ガ、組合ノ賦課
徵收金ニ依ツテ建テラレテ居リマス、若シ

ニ、其ノ團結ヲ許スカ、御答辯ヲ願ヒマス
○妹川政府委員 只今工業組合ノ數ハ、十

ニゴザイマスシ、又工業組合ニモサウ云フ
必要ノアル場合ニ於テハ、將來認可サレ得

今主税局長ノ御意見ノヤウニ、新倉次長モ能ク聽イテ下サイ——サウ云フ御考デアル

カラ大臣ノ御答辯ト違ツテ來ルノデハナイ
カト思ヒマス、モウ少シ本當ニ研究シテ御

五年ノ一月末デ四千五百バカリ數ヘテ居リ
マスガ、統制事業ダケヤツテ居ル組合ハゴ

ベキモノダト信ジマスノデ、其ノ點統制事業ノミノ組合ニハ課稅サレナイガ、經濟事

ナラバ、私ハ先ヅ満足致シマス、所謂商法
人ダ、商法人デアルナラバ工業者ノ物價價

<p>ト致シマシテモ、資本金ハ一万圓内外ノモノデス、一万圓カ一万五千圓位ノモノデス、ソンナ五万十万ト云フ出資金ヲ持ツテ居リマセヌ、ソレハ法ニ依ツテ縛ツテ居リマスカラ、經濟團體ニナツテ居リマスル三分ヲ超ユル利益ト云フモノ剩餘金トカハ商業組合、工業組合ト云フモノデ經費ヲ徵スル餘リ金ガ直グ三分ヲ超エマス、何億何万ト云フ生産ガアルナラバ、ソレハ或ル程度ノ大キナ基本金ヲ此ノ際組合ヲ強固ニシ國策ニ順應シヨウト思ツテ居リマスガ、隨テモ、其ノ基本金ニ段々稅金ガ付ケラレテ行ク、仕事ハーツモ自分達ノ利益ノ爲ニヤツテ行クノデハナイ、アナタノ御答辯ト違ツテ居リマス、更ニ御考ノ必要ガアルノデハナイカ</p> <p>○堀切委員長 别段ニ答辯ガナイヤウデアリマスカラ、續イテ渡邊君</p> <p>○渡邊君 御答辯ガアリマセヌカ</p> <p>○藤原國務大臣 度々繰返シテ申上ゲテ恐縮デアリマスガ、商工省トシテ考ヘテ居リマスクトハ其ノ中間ノ商業組合ニアラウト、工業組合デアラウト、或ハ聯合會デアリマセウト、其ノ外ノ團體デアリマセウトモ、中間ニ餘リ餘計ナ利益ヲ與ヘテ消費者者イモノヲ消費セシメルト云フヤウナコトハ非常ニ面白クナイト存ジテ居リマスノデ、出来ルダケ中間ノ組合トカ團體トカニ協力シテ戴イテ、此ノ國家ノ非常時デアリマスカラ、安イ手數料デ生産者ノモノヲ消費者ニ分配シテ行クト云フヤウナ心持デヤツテ戴キタイト云フノガコチラノ狙ヒ所デアリマスカラ、所謂低物價政策デ行カウ、斯ウ云フ目的デ吾々ハ實行シテ居リマス、併シナガラ——此處ニ併シナガラガ付クノデス、</p>	
<p>○渡邊委員 ソレデハ私モ繰返スコトハ致シマスマイ、然ラバ出資セザル聯合會ダケハ出資團體トセザル御決意アリヤ否ヤ</p> <p>○妹川政府委員 工業組合ニ付キマシテハ、ソレハ實質的ナ經濟事業ヲシテ居ルカドウカト云フ、ソコヲ捉ヘテ課稅ヲスルノデアリマシテ、無出資或ハ出資、斯ウ云フコトノ標準デ決メル譯ニハ行カヌト思ヒマス</p> <p>○渡邊委員 法デハ出資團體ニアラザルモノハ課稅セズトナツテ居リマス</p> <p>○大矢政府委員 工業組合等ニ於キマシテハ、統制ノミヲヤル場合ニハ出資ナクトモヤリ得ルヤウニ法制ガ出來テ居ルノデアリマシテ、斯ウ云フ組合ニ對シテハ免稅スル積リデ規定致シテ居リマス</p> <p>○渡邊委員 商工省ハサウ云フ無出資工業組合ヲ許スカ、明確ナル御答辯ヲ願ヒマス</p> <p>○妹川政府委員 ドウモ是ハ少シ答辯ガドウカト云</p> <p>○渡邊委員 ドウモ是ハ少シ答辯ガドウカト云</p> <p>○森田委員 一寸議事進行ニ付テ</p>	<p>併シナガラサウ云フ積リデヤツテ參リマシテモ、昔カラ元値々デ藏ガ建ツト云フ言葉ガアル、ダカラ元値々々行ツテモ藏ガ建ツングカラ、此ノ組合ガ若干ノ剩餘ヲ生ジタリナシタ場合ニハ、ソレニ澤山ノ課稅ヲスルノデハナイ、僅カノ課稅ダカラ我慢シテ戴キタイ、斯ウ云フコトデアリマシテ、詰リ同ジコトヲ繰返シテ申上ゲル譯デアリマス</p> <p>○渡邊委員 ソレデハ私モ繰返スコトハ致シマスマイ、然ラバ出資セザル聯合會ダケハ出資團體トセザル御決意アリヤ否ヤ</p> <p>○妹川政府委員 現在ノ所ハゴザイマセヌ、併シ只今設立スルヤウナ大體運ビニナツテ居リマスノガ、四國ニゴザイマス、ハツキリ其ノ組合ノ名ヲ申上ゲルコトハ一寸御許ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、大體寫眞組合デゴザイマスガ、ソレハ無出資ノ統制工業組合ヲ拵ヘルヤウナコトニ決定シテ居リマス</p> <p>○渡邊委員 サウ云フ風ニ仰シヤレバ、今マデハナクテモ、是カラスルノダト云フ商工省ノ御方針デアル、マア言葉ハ惡イカモ知リマセヌガ、實際上大臣ヨリ局長ノ仰シヤル方ガ本當デセウカラ、サウ云フコトニヤリ得ルヤウニ法制ガ出來テ居ルノデアリマシテ、斯ウ云フ組合ニ對シテハ免稅スル信ジテ置キマス、私ハ工業組合法ヲ改正セズニ出來ナイト思ツテ居リマスケレドモ、是モ大臣カラ御答辯ガアリマセヌカラ……</p> <p>○渡邊委員 ソレハ工業組合法ヲ御覽戴ケバ十分分リマスカラ、御説明ハ後デ申上げマス</p> <p>○他發言スル者アリ</p> <p>○藤原國務大臣 只今ノ渡邊君ノ御尋ニ對シマシテハ、商工大臣トシテ政府委員ノ申上ゲタコトガ少シ言葉ガ足リナイト存ジマスカラ、是ハ商工大臣トシテ一先ヅ取消ニ致シテ置キタイト思ヒマス、左様御承知ヲ願ヒマス</p> <p>○森田委員 一寸議事進行ニ付テ</p>
<p>○堀切委員長 議事進行ナラ許シマス</p> <p>○森田委員 今ノ法律ヲ斯ウ云フ風ニ解釋シテ宜イカ、一體出資セザル工業組合ハ從事テ宜イカ、</p>	<p>ト云フノハ、ソンナ不都合ナ答辯ガ何處ニアルカ、一體君ノ答辯ハ、吾々ガソンナコトヲ知ラヌ結果、追詰メラレテ今後ハ許ス用意ヲシテ居ル、所デ此ノ稅制ヲ決定シタノハ前内閣デアツテ、アナタ方オ一人ガ之ヲ考ヘタヤ</p>

拘ヘタモノヲ其ノ儘御出シニナツテ、ソレヲ今許スト言ヘレルガ、此ノ稅法ヲ決メル時ニハ、此ノ無出資工業組合ヲ許スト云フコトガ豫メ、ヤント分ツテ居ツタカ、サウ云フコトハナイ、同時ニ今ノ商工省ノ政府委員ノ答辯ヲ吾々委員ガ聽イテ居ルト――ト分ルトハ何ダ、サウスレバ此ノ稅法ノ如キモ此處デ質疑應答ヲ重ネル必要ナハイデハナイカ、質疑應答ヲ重ネルノハ、ソコニ必要ガアルカラデ、トハ――タルコトデアルカ

○堀切委員長 議事進行デスガ、ソレデ私ヨリ注意シロト云フノデスカ、今日ハ是デ止メロト云フノデスカ

○森田委員 ソレニ答辯ガ出來ナケレバ、サウ云フ政府委員ヲ此ノ席ニ來サセテ質疑應答ヲスル必要ハアリマセヌ、平素商工省へ行ツテ見テモ、如何ニモ商工省ノ役人ハ生意氣グ、此ノ肝腎ナ稅制案ヲ審議ヲシテ居ル席ヘ來テ、此ノ答辯ハ何タルコトデアルカ、アレヲ以テ見テモ平素商工省ノ國民ニ對スル態度ガ分ルデハナイカ、斯ウ云フ政府委員ノ下ニ絶對ニ議事ヲ進メテハイカス

○渡邊委員 次ニ物品稅ニ付テ御尋致シマス、第一條ニ「左ニ掲グル物品ニシテ命令ヲ以テ定ムルモノニハ本法ニ依リ物品稅ヲ課ス」トナツテ居ツテ、其ノ「命令ヲ以テ定ムルモノ」ハ前議會ニハ御提出ニナリマシタガ、今議會ニハ御提出ニナツテ居ルト云フコトヲ先づ以テ要求致シマス

○田中政府委員 此ノ「命令ヲ以テ定ムルモノ」ニ付キマシテハ、今回新ニ改正致シマシタモノハ、要綱トシテ御手許ニ差上げテアリマスガ、從來通リノモノニ付テハ非常ニ廣汎ナモノデ新シク印刷ハ致シマセヌデシタガ、御手許ニアリマス稅法規ニ全部從來通り出テ居リマスノデ、ソレヲ御覽願ヒタイト思ヒマス

○渡邊委員 第一種甲類ノ六ノ琥珀製品、番號ノ入替ヲ見テ居ルカラ、前ノ資料デハ全然違ツテ來ルト思ヒマスガ、其ノ點國稅以下順ニ此ノ前ノ物品稅ノ品目ガ詳細書イテアル、所デ現在ト違ハヌト言ヘレルガ、鬼ニ角ソレガ賣買サレル場合ニハ課稅出來ルカモ知レマセヌガ、個人ト個人トノ間デノデアルカ、ソレハ「デパート」等デ犬猫ヲ賣買スル場合――猫ハドウカ知リマセンガ、鬼ニ角ソレガ賣買サレル場合ニハ、此ノ物品稅ノ徵收ニ付テハ、トウナサルノデアルカ、其ニナリマスガ、實質ノ是マデノ品名トカ、課稅ノ最低限價格ナドハ從來ノ施行規則ニアリマシテ、御手許ニ差上ガマシタノハ、此ノ中ニ全部記載シテアリマスカラ、便宜ソレデ御覽ヲ願ヒタイト申上ガタノデアリマス

○渡邊委員 此ノ番號ヲ違ヘタ理由、並ニ發言ノ點ニ付テハ御尤モト存ジマス、兎ニ角是ハ商工大臣トシテ政府委員ノ今ノ答辯ヲ取消シマスカラ、ドウゾ左様御承知ヲ願ヒマシテ、更ニ御審議ヲ願ヒタイト思ヒマス

○妹川政府委員 大變失禮ナコトヲ申上ゲテ相濟ミマセヌ、ドウゾ御宥シヲ願ヒマス

○堀切委員長 大臣カラモ政府委員カラモ只今ノヤウニ言明ガアリマシタカラ、先ヅ此ノ程度デ……

○渡邊委員 次ニ物品稅ニ付テ御尋致シマス、第一條ニ「左ニ掲グル物品ニシテ命令ヲ以テ定ムルモノニハ本法ニ依リ物品稅ヲ課ス」トナツテ居ツテ、其ノ「命令ヲ以テ定ムルモノ」ハ前議會ニハ御提出ニナリマシタガ、今議會ニハ御提出ニナツテ居ルト云フコトヲ先づ以テ要求致シマス

○田中政府委員 此ノ「命令ヲ以テ定ムルモノ」ニ付キマシテハ、今回新ニ改正致シマシタモノハ、要綱トシテ御手許ニ差上げテアリマスガ、從來通リノモノニ付テハ非常ニ廣汎ナモノデ新シク印刷ハ致シマセヌデシタガ、御手許ニアリマス稅法規ニ全部從來通り出テ居リマスノデ、ソレヲ御覽願ヒタイト思ヒマス

○渡邊委員 第二條ノ甲類ノ稅率百分ノ五十ヲ百分ノ二十トシタ理由、第一種乙類ノ七ノ象牙製品、八ノ七寶製品ト云フモノト以下順ニ此ノ前ノ物品稅ノ品目ガ詳細書イテアル、所デ現在ト違ハヌト言ヘレルガ、鬼ニ角ソレガ賣買サレル場合ニハ課稅出來ルカモ知レマセヌガ、個人ト個人トノ間デノデアルカ、ソレハ「デパート」等デ犬猫ヲ賣買スル場合――猫ハドウカ知リマセンガ、鬼ニ角ソレガ賣買サレル場合ニハ、此ノ物品稅ノ徵收ニ付テハ、トウナサルノデアルカ、其ニナリマスガ、實質ノ是マデノ品名トカ、課稅ノ最低限價格ナドハ從來ノ施行規則ニアリマシテ、御手許ニ差上ガマシタノハ、此ノ中ニ全部記載シテアリマスカラ、便宜ソレデ御覽ヲ願ヒタイト申上ガタノデアリマス

○大矢政府委員 甲類ノ物品ニ付テ稅率ヲ百分ノ十五カラ二十二致シマシタノハ、此ノ種ノ物品ハ物品稅ノ課稅品目ノ中ニ於テモ、比較的奢侈品ト申シマセウカ、負擔能カノ多分ニアル者ノ使用スルモノニアリマシテ、最近ノ購買ノ狀況ヲ見テモ、相當賣行キガ好イヤウデアルカラ、此ノ際此ノ程度ノ率ノ引上げハ致ス必要ガアル、斯ウ云フ風ニ考ヘタ次第アリマス、愛玩用動物ニ付テハ御尋ノヤウナ點ガアルノデアリマ

色々ナ色ニ分ケテアル紙ヲ又變ヘナケレバナラヌト云フ情勢ニアリマスカラ、此ノ際當局ノ意思ヲ承ツテ置キタイ

○渡邊委員 ソレナラバ茲ニ寫眞機ヲ持ツテ居ル、此ノ寫眞機ハ百圓デ課稅サレテ居ルガ、今度ハ百分ノ十五カラ二十二ナツタ、サウスルト其ノ五圓ト云フノハ誰ガ利益ヲ或ハ又場合ニ依ツテハ、是ハ實質的ノ變更デハナク、法律ノ形式ノ變更ダケデアリマスカラ、法律ノ形式、番號ノ打チ方ノ變更ト云フコトモ考ヘテモ宜イノデハナカラウカ、何レニシタナラバ宜イカト云フコトニ付テハ、尙ホモウ少シ考ヘテ見タイト存ジテ居リマスガ、是ハドウ云フ方法デ課稅スルノデアルカ、ソレハ「デパート」等デ犬猫ヲ賣買スル場合――猫ハドウカ知リマセンガ、鬼ニ角ソレガ賣買サレル場合ニハ課稅出來ルカモ知レマセヌガ、個人ト個人トノ間デノデアルカ、ソレハ「デパート」等デ犬猫ヲ賣買スル場合――猫ハドウカ知リマセンガ、鬼ニ角ソレガ賣買サレル場合ニハ、此ノ物品稅ノ徵收ニ付テハ、トウナサルノデアルカ、其ニナリマスガ、實質ノ是マデノ品名トカ、課稅ノ最低限價格ナドハ從來ノ施行規則ニアリマシテ、御手許ニ差上ガマシタノハ、此ノ中ニ全部記載シテアリマスカラ、便宜ソレデ御覽ヲ願ヒタイト申上ガタノデアリマス

○渡邊委員 新倉次長、ソレデ宜イデスカ、元々同ジ製品デ同ジ價格ノモノヲ造ツテ居ル、ソレヲ三月三十一日、四月一日ハ値段ヲ違ヘテヤルノダ、斯ウ云フ國稅課長ノ御答辯デアル、ソレデハ先刻モアリマシタ煙

ル草ノ例カララ言ツテ、大藏省ガ煙草ナンカ自分ノ方ニ關係スルモノハ其ノ時カラ値上ヲシテ許シテ行カウ、斯ウ云フ風ニ解釋シ○新倉政府委員 其ノ問題ハ先程何レ相談シテ一括シテ御答スルト云フ風ニ申シテアリマスカラ、其ノ時ニ御答致シマス
○渡邊委員 第八條ノ小賣ト云フノハ、是ハ許可制デスカ
○大矢政府委員 是ハ許可ヲ要シマセヌ○渡邊委員 次ニ相續税デアリマスガ、親ガ戸主ノ儘デ相續人ガ相續スル場合ト、親ガ隠居シテ其ノ相續人ガ戸主トナツテ相續スル場合、即チ遺産相續ト家督相續トノ税率ガ遼フノデアリマスガ、左様ニ考ヘテ宜イノデスカ、其ノ次ニ遺產相續ノ場合ニ、初メニ譲渡ノ遺產相續ヲシテ居ツタモノガ、更ニ親ト子ガ一緒ニ居ラズニ別居スル時ハ、所得稅ハ別々ニ計算スルノデアルカドウカ、斯ウ云フ點ヲ御伺シマス
○大矢政府委員 家督相續ト遺產相續トニ於キマシテハ、稅率ニ差等ノアルノハ仰セノ通リデアリマス、ソレカラ所得稅ニ於キマシテハ綜合所得稅ハ同居家族ノ分モ合算シテ課稅致シマス、併シ是ガ別居致シマスレバ假令同一戸籍内ニアル親子ト雖モ合算ハ致シマセヌ
○渡邊委員 次ニ遊興稅ノ問題ヲ伺ヒマスガ、先ツ「カフエー」ト「バー」ノ定義ヲ承リタイト思ヒマス
○大矢政府委員 是ハ命令案ニ大體分リ易ク「カフエー」「バー」トシテアリマスガ、實ガ、先ツ「カフエー」ト「バー」ノ定義ヲ承リタイト思ヒマス
婦女子ヲシテ「サービス」ヲ致サセル、斯ウ

○渡邊委員 婦女子ヲシテ「サービス」致サ
スト云フコトニナレバ、男ガ「サービス」ス
ル時ハドウナリマスカ、私ノ愛知縣ナドデ
ハ男バカリノ所ガ澤山アリマス、「ボーライ
ガ居ツテ、二三十錢ノ「ランチ」カ何カ出ス
ヤウナ洋風ノ所ガアルノデアリマスガ、サ
ウ云フ所モ男ナラ宜シ、女ナラバ家ノ婆ガ
出テ來テモ「バー」デスカ

○大矢政府委員 實ハ「カフェー」「バー」ニ
對スル課稅ハ、昨年遊興飲食稅創設ノ際ニ
議會ニ於キマシテ大分問題ガアリマシテ、
是非是ハ他トノ均衡上課稅シナケレバイケ
ナイ、而モ免稅點ナシニ課稅スベキヂヤナ
カラウカト云フ御意見ガ中々多カツタノデ
ゴザイマス、主トシテ大都市方面ノ「カフ
エー」「バー」ニ付テデゴザイマス、其ノ方面
ノ狀況ハ今此處ニ申上ゲルマデモナイコト
カト存ジマス、隨ヒマシテ此ノ度課稅ノ對
象ニ致シマスノハ此ノ方面デアリマス、男
ガ配膳ヲスルト云フヤウナモノハ勿論課稅
ハ致シマセヌ、ソレカラ婦女子ガ配膳ヲ致
ス場合ニ於キマシテモ、單ニ配膳スルト云
フ程度ノモノハ課稅致シマセヌ、席ニ侍シ
テ「サービス」スルト云フモノニ對シテ、課
稅シヨウト云フ積リデアリマス

○渡邊委員 サウ云フ點ガハツキリ分ルデ
セウカネ、側ニ侍シテ居ツタカ居ラナカツ
タカ、侍ベルカドウカ知リマセヌガ、兎ニ
角實例トシテハ、斯ウ云フヤウナモノガア
ル、表ガ菓子屋デ中ガ洋風ダ、サウシテ娘
ガ珈琲ヲ出シテ居ルト云フ所ガ東京ニモ隨
ノ二階ハ日本間デアル、日本蘭ニ上レバ三

○渡邊委員　ドウモ其ノ邊ヲマダハツキリ御決メニナツテ居ラヌヤウデアリマスケレ
中デゴザイマス
○渡邊委員　ドウモ其ノ邊ヲマダハツキリ御決メニナツテ居ラヌヤウデアリマスケレ
アリマス、簡易ナ食堂トアナタ方ガ狙ツテ居ラレル課稅ノ目標トシテ居ラレルヤウナ營業者トヲ、何處デ分ケテ行クノカ、是ハ内務省ニモ關係ガアルト思ヒマスケレドモ、何處デ御分ケニナルカ、其ノ點ヲハツキリ伺ヒタ
○大矢政府委員　是ハ實際問題トシテ東京、大阪等ノ大都市ニ於ケルモノニ付キマシテハ、餘り問題ガナイト思ヒマス、唯地方ノ中都市或ハ田舎ニ行ケバ、相當今御示シノヤウナ點ガアルト思ヒマス、是等ハ稅法實施ニ際シテ色々問題ガ起ルヤウデハイ
ケマセヌカラ、十分其ノ限界ヲ明ニシテ、是ハ免稅點ナシニ課稅サレル所トカ、或ハサウデナイ所ト云フ風ナハツキリシタ區分ヲ付ケタイト存ジテ居リマス、大體ノ所ハ婦女子ガ席ニ侍シテ「サービス」ヲスルカ否カト云フノデ、判定ガ付クトハ思ヒマスケレドモ、地方ニ於キマシテ少人敷デ營業シテ居ル場合等ニ於キマシテハ、御示シノヤウナ點ガアルカト思ヒマス、併シサウ云フ場合等ニ於キマシテモ、普通婦女子ガ特別「サービス」スルト云フ場合ニハ、「チップ」等ノ制度ニ依ツテモ、大體違ガアルト認メラレマスケレドモ、此ノ點ニ付テハ尙ホモウ少シ具體的ニ全國的ニ材料ヲ蒐集致シマシテ、本法實施ノ際ニ紛肴ヲ來サナイヤウニヤリタイト思ツテ、目下折角材料蒐集

モ、實施スルトナルト不安ヲ伴フノデア
リマスカ、尙ホ突進ンデ御話ガ出来ルナラ
シテ戴キタイ、ソレカラ花代ノ伴ハザル
食ハ三圓カラ取ラレルノデアリマスガ、
ホテル等ニ於キマシテヘドノ程度ノ旅客カ
三圓以上ニ飲食稅ヲ認メテ居ルノデアル
、サウ云フ點ニ於テ決ツテ居ルカドウカ
大矢政府委員 「カフェー」「バー」ノ地方
於ケル小規模デ營業シテ居ルモノノ課稅
ナリマスカ否カノ分界點ニ付キマシテ
、大體考ヘ方トシテハ二ツアルノデハナ
ラウカト私思ツテ居リマス、ソレハ免稅點
置キマセヌケレドモ、併シナガラ通常珈
一杯トカ云フヤウナ程度、或ハ「ライス・
レー」一皿ト云フヤウナ程度デ居ル所ハ、
人當リノ消費金額モ少イノデアリマスカ
、サウ云フ客ガ多ク出入リスルヤウナ所
、大體「カフェー」「バー」ニ當ラナイト云
風ナ見方デ、或ハ扱ヒノ上デ一人平均五
錢ト云フノデ、五十錢以下ノモノガ大多
ヲ占メルヤウナモノハ、之ニ當嵌ラナイ
都度、其ノ都度ヤラレルヤウナ點モアリマ
ス、併シドウモ他ノ營業ト違ヒマシテ、
カフエー」「バー」ハ御承知ノ通り勘定モ其
ハ中々困難ノヤウデアリマス、昨年遊興飲
稅ノ實施ニ當リマシテ、一人五圓以上ノ場
合ニ課稅スルト致シテアリマスガ、相當銀
邊ニ於キマシテ堂々タル構ヲ致シテ、數
回ト云フ判定モ相當付キニクイ點ガアル

ノデ、相當脫漏ガアルノデハナカラウカ、隨ヒマシテ
斯ウ思ハレルノデゴザイマス、隨ヒマシテ
一人當リノ課否ノ分界ヲ決メルト云フノハ
「カフェー」「バー」等ノ業態ノ實際カラ見マ
シテ甚ダ適當デハナイ、隨ヒマシテ或ハ人
數ノ點ニ於キマシテ、例ヘバ當時五人以上
ヲ使傭シテ居ルモノナラバ、「カフェー」、
「バー」トスルカ、ソレ以下ノ場合ニハ「カ
フェー」「バー」トシテ免稅點ナシデ課稅扱
ハシナイト云フ風ニ、是ハ簡單ニ出來ルト
思フノデアリマスカラ、サウ云フ方法モ一
ツノ行キ方カト存ジテ居リマス、併シサウ
云フ少人數ノ所デモ、東京市内等デモ相當
高級ナ「カフェー」「バー」ガアルノデアリマ
ス、是ハ一人當リ三圓以上ニナレバ、他ス
飲食店ト同ジヤウナ課稅ヲ受ケルト云フコ
トニナリマシテ、多少ソコラニヤハリ實施
上考慮シナケレバナラヌ點ガアリマスケレ
地方等ニ於キマシテ苛酷ニ瓦ラナイヤウナ
コトニ致シタイ、勅令デハツキリ規定スル
ト云フコトガ宜イト云フ結論ナラバ勅令デ
規定スル、或ハ批ヒディケルナラバ、認定
ノ標準ヲ大藏省ノ通牒トシテ、全國一律ニ
シテ行クコトモ一ツノ方法カト思ヒマシテ、
今出來ルダケ全國ノ資料ヲ蒐集シテ居ル次
第ニアリマシテ、此ノ點ニ付キマシテハ全
國ノ業者ニ於キマシテモ、色々心配モシテ
居ルヤウデアリマスカラ、出來ルダケ早ク
私共ノ腹案ヲ決メテ、當委員會デ申上ゲル
機會ヲ得タイト斯ウ存ジテ居リマスソレカ
ラ「ホテル」ニ於キマシテモ飲食ガ三圓以上
ニナレバ課稅スル、從來ハ五圓以上デアリ
マシタケレドモ、今度ハ三圓以上トナリマ

シテ、唯免稅點ガ引下ゲラレルダケデ、其
ノ他ハ從來ト何等變更スル所ハゴザイマセ
「カフェー」「バー」ノ方ハ折角御研究中デア
リマスカラ、御研究ノ結果ヲ發表シテ戴ク
コトニシテ、以上ノ點ニ付テ御答辯ヲ願ヒ
タイト思ヒマス
○大矢政府委員 「ホテル」ト日本旅館ニハ
別ニ區分ハゴザイマセヌ、一食ノ食事代ガ
三圓以上ニナレバ、ドチラモ課稅ヲ受ケル
次第ゴザイマス、ソレカラ玉突屋ニ付キ
マシテハ、從來ト同ジヤウニ總テ其ノ收入
金ヲ以テ、全部課稅標準ニ致シマス
○渡邊委員 玉突ハ從來通りデスカ
○大矢政府委員 課稅標準ノ計算ノ方法ハ
從來通りデス、唯稅率ダケ上ツテ居リマス
○渡邊委員 サウスルト免稅點ハアリマス
カ
○大矢政府委員 ゴザイマセヌ
○渡邊委員 今度ナシニシタノデスカ
○大矢政府委員 前カラ免稅點ハナカツタ
ノデアリマス
○渡邊委員 旅館ノ三圓ノ食事代ト云フノ
ハ一體何處ヲ押ヘテ行クノデスカ、普通ハ
宿代ト一緒ニシテ居ルノデハアリマセヌ
カ、例ヘバ十圓ノ宿代トスレバ、飲食代ハ
ドウ云フコトニナリマスカ
○大矢政府委員 是ハ昨年モ問題ニナツテ
其ノ際御答シテ置イタノデアリマスガ、大
體食事込メ一泊ノ場合ト致シマスト、其ノ
三割ヲ以テ夕食代ト見ル、斯ウ云フ風ニ
ツテ居リマス

シテ、唯免稅點ガ引下ゲラレルダケデ、其
ノ他ハ從來ト何等變更スル所ハゴザイマセ
「カフェー」「バー」ノ方ハ折角御研究中デア
リマスカラ、御研究ノ結果ヲ發表シテ戴ク
コトニシテ、以上ノ點ニ付テ御答辯ヲ願ヒ
タイト思ヒマス
○大矢政府委員 「ホテル」ト日本旅館ニハ
別ニ區分ハゴザイマセヌ、一食ノ食事代ガ
三圓以上ニナレバ、ドチラモ課稅ヲ受ケル
次第ゴザイマス、ソレカラ玉突屋ニ付キ
マシテハ、從來ト同ジヤウニ總テ其ノ收入
金ヲ以テ、全部課稅標準ニ致シマス
○渡邊委員 玉突ハ從來通りデスカ
○大矢政府委員 課稅標準ノ計算ノ方法ハ
從來通りデス、唯稅率ダケ上ツテ居リマス
○渡邊委員 サウスルト免稅點ハアリマス
カ
○大矢政府委員 ゴザイマセヌ
○渡邊委員 今度ナシニシタノデスカ
○大矢政府委員 前カラ免稅點ハナカツタ
ノデアリマス
○渡邊委員 旅館ノ三圓ノ食事代ト云フノ
ハ一體何處ヲ押ヘテ行クノデスカ、普通ハ
宿代ト一緒ニシテ居ルノデハアリマセヌ
カ、例ヘバ十圓ノ宿代トスレバ、飲食代ハ
ドウ云フコトニナリマスカ
○大矢政府委員 是ハ昨年モ問題ニナツテ
其ノ際御答シテ置イタノデアリマスガ、大
體食事込メ一泊ノ場合ト致シマスト、其ノ
三割ヲ以テ夕食代ト見ル、斯ウ云フ風ニ
ツテ居リマス

ガ、經濟事犯ノ檢舉一本槍ハ實ニ拙劣ダ、斯
ウ云フ風ナ情勢ニ導カレテ居ル今日ニ於キ
マシテ、一番必要ナル此ノ機関ニ對シテ、
唯擔稅力ガアルト見テ、サウシテ負擔分任ノ
精神ヲ以テ、負擔ヲ半分位持タセテ行クノダ
ス、是ウ云フコトニ付テハ私ハドウモ理解ガ出
來ナイ、殊ニ工業關係ノ聯合會トカ、商業關
係ノ聯合會トカハ、總テ國策的ノモノデア
ツテ、國策ヲ代行スル機關デアリマスカラ、
國策ニ順應シテサウシテ國家的ノ使命ヲ
自覺シテ、組合ノ事業ニ奮闘シツツアルノ
デアリマスカラ、斯ウ云フモノニハ課稅シ
ナイ方ガ宜イト思ヒマスガ、マア提案サレ
タノデアリマスカラ、已ムヲ得ナイ、ソコ
デ先程モ商工大臣カラ繰返シ色々承リマシ
タガ、遂ニ行過ギタコトモ言ツタノデアリ
マスガ、要スルニ產業組合等ハ國家的使命
ヲ持ツテ居ル今後米ノ問題ニ付テ相當國策
ノ上ニ於テ世話ヲ掛ケナケレバナラヌ、斯
ウ云フ產業組合ニ對シテ稅ヲ課ケルコトハ
甚ダドウモ宜クナイ、又工業組合ナラバ配
給機構等ニ付テ色々世話ヲ掛ケナケレバナ
ラヌ、商工大臣ガ如何ニ低物價政策ヲ堅持
シヨウト致シマシテモ、配給機構ガ適正デ
ナケレバ旨ク行カナイ、其ノ配給機構ヲ適
正ニ致スニハ、工業組合、商業組合ノ活動
ニ俟タナケレバ、其ノ國策ヲ徹底スルコト
ハ絕對ニ出來ナイ、農產物ニ付テハ產業組
合ニ依存シナケレバ出來ナイ、今ノヤウニ
惟役人ヲ殖ヤシテ、一年ノ内ニ其ノ經費一
億六千万圓モ殖エ、役人ノ數ガドレ程ダカ
正確ニハ知リマセヌガ、何万人モ殖エル、
サウシテグラシノナイ統制ヲスルヤウナコ
トデハ、今後ハ一體ドウナツテ行クノカ、
ヲ願ヒマス
○櫻內國務大臣 特別法人ハ固ヨリ各、特別
ノ使命カラ生レテ來マシテ、今御話ノ通り
非常ナ國家的ナ効キヲ致シテ居ルノデアリ
マス、之ニ對シテ課稅シナイノガ私ハ本質
カラ言ヘバ適當デアラウト思ヒマス、併シ
ナガラ今日ノ如キ時局デアリマスノデ、組

合員ニ對スル配分金ハ別ト致シマシテ、其ノ剩餘金ガ三分以上ニナリマシタ場合ニ於テ、幾分ノ負擔ヲシテ貰フト云フコトハ、斯ウ云フ時局デアリマスカラ、是等ノ法人モ協力セラレルモノト見テ、此ノ案ヲ決定シタノデアリマス、普通ノ税金カラ見マスト半減シテ居ルノデアリマシテ、其ノ特別ナ法人ノ性質ハ、政府ニ於テモ能ク認メテ居ル次第デアリマス

○渡邊委員 ドウモ大藏大臣ノ御答辯ハ私ハ肯定スル譯ニイキマセヌガ、研究セズニ

御答辯ノヤウデアル、是以上申上ゲテモ如何カト思ヒマスカラ質問スルコトヲ遠慮致シマス、遠慮スル理由ハ、私ノ意見ニ

賛成サレテ居ツテモ、一旦提案シタノダカラ公然ト賛成スルトハ仰シヤラレナイデセ

ウ、併シナガラ配給ガ適正デナケレバ低物價政策ハ行ヘレズ、アナタノ主張サレマス

「インフレ」防止ト云フコトモ現実出來ナイ、最後ニ消費者ニ安クスルヤウニシテ、

寧ロ國策ニモット手傳ハセルノガ適當デハコトハ不合理デアル、ソレニ色々世話ヲサ

セテ、最後ニ消費者ニ安クスルヤウニシテ、

斯ウ云フ時局デアリマスカラ、是等ノ法人

モト云フヤウニ私ハ深ク信ジテ居ル者デアリマスガ、是以上モウ御答辯ヲ要

求致シマセヌ、唯最後ニ酒ニ付テ、是モ物價ト關係ガアルト思ヒマスカラ御伺シマ

スガ、今度三割程度酒ノ稅ヲ御上げニナツタ、酒ノ稅ハ造石税ト庫出稅ト二本建デア

マシタ税金ハ誰ガ負擔スルノデアリマスカ、賣ル時分ニ小賣屋ナドガ、ソレダケ高ク賣

ツテモ宜イノデアリマスカ、一寸御伺シテ置キ

○大矢政府委員 「カフェー」「バー」ノ定義ハ今御話ノヤウナコトハ、實ハ私ハ申上ゲ

タコトハゴザイマセヌ、ソレデ今度提案シ

○大矢政府委員 「カフェー」「バー」ハドウ云フ内

内藤委員 一寸、先程「カフェー」「バー」

ノ話ガ出マシタカラ、關聯シテ伺ヒマスガ、是ハ大矢サンニ聽イタノカドウカハツ

キリ覺エテ居リマセヌガ、私ノ聽イテ居ル所デハ「カフェー」「バー」ト云フモノト他ノ

モノトノ違ヒハ、人的並ニ洋風ノヤウナ物的設備ヲ利用シテ、多少歡樂的ノ氣分ノアル

「サービス」、ソレニ酒類ヲ伴フ設備ガアルモノト云フ風ニ聽イタノデアリマスガ、今日ノ御説明ハ大分違ツテ居リマス、アナタノ言フ「カフェー」、「バー」——酒場ハ直

グ分リマスガ、「カフェー」ニハ喫茶店ヲ含ムト云フナラバ是ハ別デアリマスガ、舍

マスト云フナラバ、ソレダケ別ナ取扱ニナルノカドウカ、モウ一遍「カフェー」ニ付

テノ定義ヲ承リタイ、先程材料ヲ蒐集シテト言ハレマシタガ、東京、大阪ヲ初メ、

大體日本デハ「カフェー」、「バー」云フモノハ、觀念的ニ分ツテ居リマスガ、表現方

難カシイ、其ノ表現ヲ旨ク決メテ戴ケマセカ、茲デコンナコトヲ今更研究スル程ノ

コトデモナイト思ヒマス、ソコデ喫茶店ノ如キ完全ニ洋風デアツテモ、牛乳ヲ飲ンデ

女ガ居ツテ享樂出來る場合ニハ、是モ「カ

フェー」ト云フアナタノ御氣持カ、ヤハリソレハ一種特別ノモノデアルト云フコトデ

タインデアリマス

○大矢政府委員 普通ノ洋食店ニ於テ婦女子ガ客ノ所ニ料理ヲ運ブト云フダケノロト

ヲシテ居ルモノニ對シテハ特別ニ「カフェ

ー」「バー」ト同ジヤウナ課稅ハ致サナイ、從

來通リノ積リデゴザイマス、何回モ申上ゲ

マシタ通リ「カフェー」「バー」ト云フモノノ現狀カラ致シマシテ、他ノ日本料理或ハ洋

食店ト違ツテ、或ル程度歡樂的ノ分子ガア

ルモノデゴザイマスカラ、其ノ點ニ着目致

モ知レス、ダカラサウ云フモノニ稅金ヲ高

價格ニ付キマシテモ、先程御話ノ出マシタ

織物ト同ジ問題ダト思ヒマスカラ、兩者併

セテ後程御答スルコトニ致シマス

○内藤委員 一寸、先程「カフェー」「バー」

ノ話ガ出マシタカラ、關聯シテ伺ヒマスガ、

是ハ大矢サンニ聽イタノカドウカハツ

キリ覺エテ居リマセヌガ、私ノ聽イテ居ル

所デハ「カフェー」「バー」ト云フモノト他ノ

モノトノ違ヒハ、人的並ニ洋風ノヤウナ物的

設備ヲ利用シテ、多少歡樂的ノ氣分ノアル

「サービス」、ソレニ酒類ヲ伴フ設備ガアル

モノト云フ風ニ聽イタノデアリマスガ、今

日ノ御説明ハ大分違ツテ居リマス、アナタ

ノ言フ「カフェー」、「バー」——酒場ハ直

グ分リマスガ、「カフェー」ニハ喫茶店ヲ

含ムト云フナラバ是ハ別デアリマスガ、舍

マスト云フナラバ、ソレダケ別ナ取扱ニナ

ルノカドウカ、モウ一遍「カフェー」ニ付

テノ定義ヲ承リタイ、先程材料ヲ蒐集シ

テト言ハレマシタガ、東京、大阪ヲ初メ、

大體日本デハ「カフェー」、「バー」云フモ

ノハ、觀念的ニ分ツテ居リマスガ、表現方

難カシイ、其ノ表現ヲ旨ク決メテ戴ケマセ

カ、茲デコンナコトヲ今更研究スル程ノ

コトデモナイト思ヒマス、ソコデ喫茶店ノ

理屋ノ鑑札ヲ持テバ三圓以下ハ稅金ガ課ラ

ガアリ得ルト思フノデス、ヤハリ其處デ料

理店ノ女中ガ「サービス」ヲスル、只今ハ料

理屋ノ鑑札ヲ持テバ三圓以下ハ稅金ガ課ラ

ナイ、「カフェー」ナラバ三圓以下ニ稅金ガ

課ル、ソレダケアナタガ洋風ト云フコトニコ

ダハラレルナラバ、洋風ノ料理店デアツタ

ナラバドウデスカ、洋風ノ料理店ヨリ「カ

フェー」ノ方ガ待遇ガ悪イト云フコトニナ

ルガドウデスカ

○内藤委員 ソレデハ料理店ト「カフェー」

トハドウデスカ、洋風ノ料理店ト云フモノ

ガアリ得ルト思フノデス、ヤハリ其處デ料

理店ノ女中ガ「サービス」ヲスル、只今ハ料

理屋ノ鑑札ヲ持テバ三圓以下ハ稅金ガ課ラ

ナイ、「カフェー」ナラバ三圓以下ニ稅金ガ

課ル、ソレダケアナタガ洋風ト云フコトニコ

タガアリマシタガ、玉突ハ稅金ナシデアツ

タノガ、今度ノ法案ニ依ルト百分ノ二十稅

金ガ課カル、所ガ松竹ノヤウナ大キナ興行

物ハ稅金ガ低イ、玉突ナンカハ私モシタコ

トガアリマスガ、十錢カ二十錢、三十錢拂

ツテモ之ニ百分ノ二十ノ稅金ヲ取ル、所ガ

堂々タル設備ヲシタ興行物ノヤウナモノハ

玉突ハ賭ケテハイケマセヌ、昔ハ賭ケタコ

トガアルガ今ハ賭ケナイ、活動寫眞ヲ觀テ

モ宜イ、同ジ享樂的氣分ノモノデハナイカ、

モ知レス、ダカラサウ云フモノニ稅金ヲ高

容ノモノカト言ヘバ、先程申上ゲマシタ

リ、洋風ノ設備ヲシテ居ツテ、婦女子ヲ客席

ニ侍ラシテ「サービス」ヲスル所、斯ウ云フ

店、或ハ又新興喫茶店ト云フヤウナモノニ

付テノコトカト思ヒマスガ、近頃盛ニナツ

テ來タ新興喫茶店ノ如キハ、獨リ紅茶、珈琲

ヲサシテ居リヤウデゴザイマス、斯ウ云フ

モノハ勿論課稅致ス積リデゴザイマス、併

シナガラ純喫茶店デゴザイマシテ、本當ニ

マシテ、サウシテ婦女子ヲシテ「サービス」

ヲサシテ居リヤウデゴザイマス、斯ウ云フ

モノハ勿論課稅致ス積リデゴザイマス、併

シナガラ純喫茶店デゴザイマシテ、本當ニ

クシテ、片一方ノ寧ロ身體ニ弊害ノアルモ
ノヲ低クシクト云フノハ、サウ云フ點ニ於
テアナタ方ハドウ云フ御等差ヲ御付ケニナ
ツタノカ、其ノ觀念ヲ伺ヒマス

○大矢政府委員 洋風ノ設備ヲシタ料理店
ト申シマスカ、サウ云フモノニ對スル課稅
ノコトデゴザイマスガ、ソレモ普通ノ觀念
デ見ラレテ居ル「カフエー」「バー」トハ、自

ラ違フ點ガアルト思フノデゴザイマス、但
シ純和風ノ所デモ婦女子ガ客席ニ侍ツテ、
相當「サービス」ヲシテ居ル所ガアルデハナ

カラウカト申サレマスレバ、ソレハアルト
思フノデアリマス、唯課稅ノ實際ニ當リマ
シテ、サウ云フモント、サウデナイ純粹ニ
スト云フノハ、實際上ムヅカシイト思フノ

唯御膳ダケヲ客席ニ運ンデ來ルモノトノ區
分ガ困難デアリマシテ、此ノ兩者ヲ區分シ
テ、和風ノモノマデモ課稅ヲ或る程度及ボ

シテ、其ノ界目ニ當ルモノヲドウスルカト云
一「バー」ハ、ヤハリ免稅點ナシニ課稅シタ
方ガ宜イカト存ジマス、唯地方等ニ於キマ
シテ其ノ界目ニ當ルモノヲドウスルカト云
フ問題ガ一ツ残ツテ居リマス、ソレニ付キ
マシテハ施行上餘リ紛議ヲ來サナイヤウニ、
又消費者ノ點カラ見テ無理ノ掛ラヌヤウニ、
何等カ適切ナ措置ヲ講ジタイ、斯ウ云フ風
ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス、ソレカラ
玉突ト映畫館トノ比較ノコトデゴザイマス、
ニ於キマシテ、二十錢未満ノ所ニ入ルヤウ
ナ者ハ、ソレコソ一般大衆デゴザイマス、
斯ウ云フ者ニ對シテマデモ高イ課稅ヲスル
ノハドウカト思ヒマシテ、是ハ二十錢デ切
リタイ、一方玉突等ニ出入スル者ニ付キマ

シテハ映畫館ニ一週一遍、或ハ月ニ一遍參
リマス者ヨリハ、相當擔稅力アリト認メマシ
テ、免稅點ナク稅率モ多少引上ゲタ、斯ウ
云フ次第デアリマス

○小山委員長代理 今日ハ此ノ程度ニ致シ
マシテ、明日ハ午前十時カラ開會致シマス
午後五時散會